

# KyU-RyO

宮陵

NO.62



Interview  
**インタビュ**  
神奈川大学・水泳部監督 舟橋道成さん  
神奈川フィルハーモニー管弦楽団  
チーフステージマネージャー 今井慎吾さん  
神奈川大学・経営学部OG 矢野喬子さん

「巻頭特集」  
一般社団法人  
神奈川大学  
宮陵会に  
名称が変わりました。

第89回  
東京箱根間往復大学駅伝競走  
我那覇選手、9年ぶり区間賞！  
復路6位！見えた復活の兆し！  
第89回箱根駅伝 神大激走の軌跡

定年退職を  
迎えて  
神奈川大学・経済学部教授 中野 宏一さん  
神奈川大学・経営学部教授 海老澤栄一さん



卒業式会場・パシフィコ横浜国立大ホール

山岳部が取り組む  
100年ビジョン  
トレイルレース&  
スポーツクライミング  
参戦



神大OB  
特別インタビュー  
クリエイトメティック株式会社社長 佐藤正浩さん  
富地エンジニアリンググループ株式会社社長 青田重利さん  
大学時代を回想して 木田晴康さん



# CONTENTS

- 01 会長あいさつ 一般社団法人神奈川大学宮陵会 狩野七郎
- 02 理事長あいさつ 学校法人神奈川大学 理事長 伊藤文保
- 03 学長あいさつ 神奈川大学 学長 石積 勝
- 04 前学長あいさつ 神奈川大学 前学長 中島三千男
- 05 一般社団法人 神奈川大学宮陵会に名称が変わりました。



## インタビュー

- 09 神奈川大学・水泳部監督 舟橋道成さん ● 神奈川フィルハーモニー管弦楽団チーフステージマネージャー 今井慎吾さん  
神奈川大学・経営学部OG 矢野喬子さん

## 16 定年退職を迎えて

神奈川大学・経済学部教授 中野宏一さん ● 神奈川大学・経営学部教授 海老澤栄一さん

## 18 神大OB特別インタビュー

クリエートメディック株式会社社長 佐藤正浩さん ● 宮地エンジニアリンググループ株式会社社長 青田重利さん

## 20 大学時代を回想して 木田晴康さん



## 21 山岳部が取り組む100年ビジョン トレイルレース& スポーツクライミング参戦



## 26 本部だより

## 30 神大の歴史

## 35 大学院トライアルコースのご案内

## 36 支部だより

- 52 第89回 東京箱根間往復大学駅伝競走  
我那覇選手、9年ぶり区間賞！  
復路6位！見えた復活の兆し！

## 54 支部一覧



### Column

- 07 ● 女性会員のつどい

### Advertising

- 08 ● 神奈川大学公式SNSのお知らせ
- 08 ● 株式会社ディーエムエス
- 25 ● 株式会社モットイ
- 25 ● 株式会社千代田
- 29 ● 株式会社カレンズ
- 51 ● 神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター
- 57 ● 宇久田進治税理士事務所/株式会社経営センターグループ
- 57 ● SKY総合法律事務所
- 裏表紙 ● 神奈川大学生協同組合
- 横浜信用金庫

## 横浜専門学校校歌

一、近代日本の文化の曙光  
初めてまばゆく照し、港  
港に基おく我等の母校  
栄えよ横浜専門学校

二、基は新たな昭和の御代に  
四海の思潮の寄せる時に  
経世実用めあてとなして  
栄えよ横浜専門学校

三、狂と暗とは暫しの悩み  
正義は世界の力の本と  
信じて勉むる健児のやどり  
栄えよ横浜専門学校

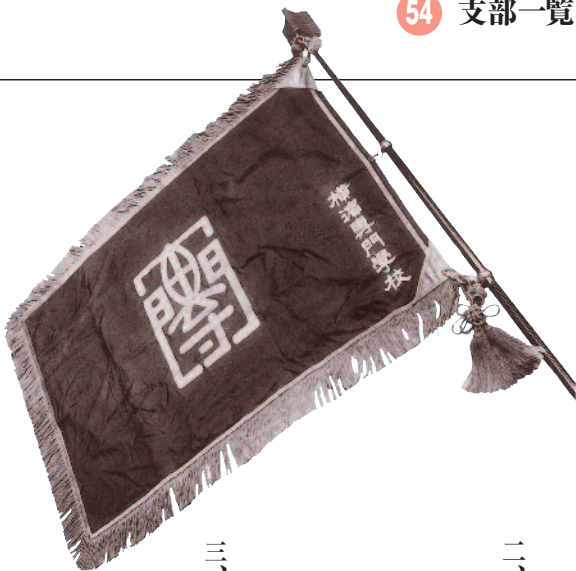
四、祖国の誉れと世界の平和  
目指して日に日に希望にみちて  
向上無窮の使命に進む  
栄えよ横浜専門学校

## 神奈川大学校歌

一、岩をうち ところろに返す  
真白なる 波のゆくえよ  
あけそめし 日本の未来  
湧きおこる あかつきの歌  
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ  
ひかりはここに  
われら われら 神奈川大学

二、空あおく 涯てなくあおく  
船は航く 遠きわたつみ  
ひとすじの 真理の潮路  
相寄りて今日も究めん  
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ  
ひかりはここに  
われら われら 神奈川大学

三、丘に立ち 祖国を想う  
混沌の 雲のゆきかい  
日に烈し ほのほの決意  
あたらしき 歴史の朝よ  
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ  
ひかりはここに  
われら われら 神奈川大学





# 会長あいさつ

一般社団法人神奈川大学宮陵会 会長 狩野七郎



## 一般社団法人神奈川大学宮陵会の船出

日本を取り巻く環境は、天候の異常等も含め、これまでの経験値とは違った対応を常に備えなければならないことが起こり始めています。隣国からの黄砂と合わせた大気汚染物質が日本を覆うなど、一国では対応も難しいことなど、人間を取り巻く環境について、それぞれの国民が地球的規模で大きな心を持ち解決に向けた努力が必要となっております。この三月で母校を巣立ち、新たに正会員として迎える卒業生には心から今後のご活躍をお祈りするとともに、世界で活躍される人間に成長していただきたいと期待する次第です。母校の校庭の桜は例年より早く満開となり新たな準会員を迎える季節でもあり、準会員の諸君には、目標を大きく持った人間に成長してもらいたいものです。

◆ さて、平成20年の法改正により特例民法法人として活動してまいりました本会は、本年3月18日付けで一般社団法人神奈川大学宮陵会として神奈川県知事から認可書を受け、この4月1日に登記申請を行いあらたな船出を

迎える事が出来ました。これも偏に会員をはじめ関係各位のご支援とご協力の賜物であり、こころより感謝申し上げます。◆

◆ これまでを顧みますと、本会の定款を一部改正して当時の主務官庁である文部科学省へ提出した時が、平成18年5月の定時総会においての決議事項でありました。時を同じくして国会で審議されてきました公益法人改革関連法案が、衆参本会議で可決承認され平成20年に施行されたところです。

◆ 当時の本会の定款では、民法の規定により本会の運営実態とは異なる縛りがかなり多くあり、困惑しながらの運営でもありました。大きなところでは会員総数の三分の二の同意が無ければ、会の解散ならびに残余財産の処分もできないなど、たいへん不自由な状況でもありました。このことは、年々会員の住所不明者が増加している傾向からしますと、定款の変更についても明らかでございました。これらのことから、現況で出来る定款変更案ならびに本会の財政基盤の確立のための維持

会費の創設などにつきまして、理事会の下に特別委員会を設けて鋭意検討した結果、それぞれの意見を集約して決議したところでありました。◆

◆ 文部科学省から定款変更案についての承認が同年12月になって正式に認可されたことは、当時の公益法人関連法案の施行までの間に詳細設計が確立していない状況下であったことなど、ある意味では時期がたいへん良かったのかとも思っております。

◆ そして、このときの定款変更が認可されていなければ、今回の一般社団法人への移行申請につきましては、たいへん難しい局面を迎えていただろうとも思うところであります。

◆ 新たな組織となりましたも、これまでと同様に全ての会員相互の親睦の輪を広げていくとともに、母校神奈川大学の維持発展のために、公益性が高い学生諸君への奨学金など諸事業をも合わせて進めていく所存であります。皆様方の更なるご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

# 理事長あいさつ

学校法人神奈川大学理事長 伊藤文保



## “時節の変わり目”に寄せて

今年もまた春先にかけて、東北地方を中心に記録的な豪雪が報ぜられました。2年前の東日本大震災と相次ぐ自然災害の前に、つくづく人間のひ弱さを思い知らされます。ご当地の校友の皆様にご心からお見舞い申し上げます。

景況もここに来て、円安、株高の傾向が続き、やや回復の兆しが見えはじめた(？)、の感がありますが、このまま安定軌道に乗って、震災復旧、復興、雇用情勢の好転そして国民生活の安定に、足早に目処がつくことをのぞみたいものです。

社会経済情勢の長引く停滞や災害などによって、本学の学生諸君ご父母の経済的負担の重圧は相当なものと察せられますが、それだけに、変らぬ宮陵会からの多面にわたる学生支援には、ただ感謝を申し上げるばかりです。

また、昨年も全国の各ブロック会議や支部総会に私をはじめ本学教職員がお招きをいただき、胸襟を開いた交流をさせていただきました。いっつに変わらぬ母校への熱い思いに接し大変励まされました。

◆ 大学の近況をご報告します。

東日本大震災で被災した学生諸君への経済支援については、発災後ただちにその被災の程度に応じ、学費免除や生活支援等の措置をかなり手厚く行ってまいりました。お陰で本学では災害によって学業を断念する学生を一人も出すことなく、全員が

学園生活をおくり又巣立って行ききました。しかし、震災の爪跡は2年を過ぎた今なお深く、厳しい環境にある学生も新入生を含め160名以上が見込まれております。本学としては今後とも学生とご家族の状況等を見極めながら継続的な支援措置を講じてまいりたいと思っております。

◆ 次に、将来も確固とした経営基盤のもとに、質の高い神奈川大学であるために、2010年度を基点として、神奈川大学将来構想中期実行計画(第一期)のもとに取り組みを進めているところです。しかし、この3年間の内でも、東日本大震災、経済環境の低迷そして予想を超えたグローバル化の進展など大学にとっても他所ごとではない社会経済情勢の変化がありました。一方、中期実行計画の進捗度も、学内各部門の積極的な取り組みによって、概ね90パーセントの進み具合をみせております。こうした背景もあり、計画の実現内容の検証と大学教育を巡る諸環境の変化や新たな要請等に応えるべく、見直し作業を行ってまいりました。この結果、2013年度をスタート台とした“改定”中期実行計画を策定した次第です。今後とも活力ある神大の更なる成長に向けて、バランス良く計画の実行を期してまいります。

◆ さて、この3月をもって6年の任期を終え、中島三千男学長が退任さ

れました。“将来構想”の策定からその実行、国内外への積極的発信、教学改革に向けた情熱等々学長としての日常を超えたタフな献身ぶりはおおきに頼りがいのある存在でありました。わけても、学生への思いとそのご父母への心づかい、そして、卒業生“校友”を大切に思う気持ちのひと倍深い方でもありました。全国各地での“父母懇談会”で膝を接しての語らい、宮陵会の全国各地のブロック会議などでの肩肘張らない“おつきあい”と、フットワークの良さも抜群の中島さんでした。心から敬意を表します。

後任の石積勝学長もまた、“KU東北ポランティア駅伝”の陣頭指揮をとられたことひとつとっても、統率力、指導力そして行動力の“人”が見てとれます。校友との近しい交流も疎かにしない学長であると信じております。

◆ 大学も創立85年、いま、ひとつの転機を迎えており、宮陵会もまた、新法人として再スタートを切られる変わり目の年であります。相変わらず各各位のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

◆ 近々、宮陵会会員の皆様にも、『人をつくる―神奈川大学物語』(80年のあゆみ)をお贈りすることといたしました。それぞれの思い出を辿ります。宮陵会の発展と皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

# 学長あいさつ

神奈川大学 学長 石積 勝



## 日頃のご支援ありがとうございます。 今後ともよろしくお願い申し上げます。

このたび神奈川大学学長に就任いたしました、石積でございます。就任にあたり卒業生の皆様へ一言ご挨拶申し上げます。

伊藤理事長がよくおっしゃられています「大学を支えているのは、学生と、教職員と、それから卒業生である」と。私も全くその通りだと思っております。大学を支える三本の柱のひとつ、卒業生の皆さんの変わらぬご支援があつてこそ、本学は力強く、また永続的にその歩みを進めることが可能であると、ここ数年、痛感しております。その様に申し上げますのも、私自身、過去三年間副学長の職にあり、様々な形で卒業生の皆様と触れ合い、色々とお話しをさせていただいたからです。

横浜、湘南ひらつか両キャンパスでは、毎年「ホームカミングデー」が開催されます。私も毎回、卒業生の皆様の母校に対する熱い想いに触れさせていただいております。また全国各地で開催される宮陵会支部の集まりに参加させていただくたびに、それぞれの地域に根を張り活躍され、神大の存在感をしっかりと各地で示されている方々がいくつもいらっしゃることか、あらためて実感します。さらにこの三年間は、中島前学長に随行し、世界各地の宮陵会関係者の方々とお会いする機会を得ました。北米で、ヨーロッパで、アジアで卒業生の皆様のご活躍の一端を垣間見させていただき、まさしく

「世界へ、そして未来へ」（本学教職員の名刺に刷り込まれているキャッチコピーで、創立100周年に向けて、本学園が目指す姿を端的に表すフレーズとして制定されたものです。）の基盤がすでにあるのだと確信した次第です。もちろん「箱根駅伝」をはじめ、各種スポーツ大会にも多くの方々から熱いご声援をいただいております。

ところで本学は、ここ数年来「成長支援第一主義」というスローガンを掲げ学生教育に取り組んでまいりましたが、その学生の成長支援という面でも卒業生の皆様は具体的に大きな貢献をしてくださっています。昨年度も400名近くの学生が国内外のインターンシップ（就業体験）で様々な企業・団体の皆様のお世話になりました。その際、多くの本学卒業生の皆様に、直接お手伝いいただいております。さらに、東日本大震災以降続いている、KU東北ボランティア駅伝では、じつに二千二百名を超える現役神大生が、本田敏秋遠野市長をはじめ、遠野市在任の卒業生の方々に全面的にお世話いただいております。これらは、学生の「成長支援」に絶大なご協力をいただいている典型的な実例であります。学生教育はキャンパスの中に限らず、学外でのいわゆる実体験も重要だと指摘される昨今、その意味でも卒業生の皆様に大いに助けていただいているわけです。神大卒業生の絆の強さ、その大きさをあらため

て実感しております。

日本の大学は今、大きな岐路に立っております。一方では少子高齢化が急激に進み18歳人口の激減が目前にあり、受験生獲得を含めた大学間の競争もいよいよ本格化しつつあります。もう一方では、いわゆるグローバル化の急展開の中で「グローバル人材の養成」が叫ばれています。全員が全員というわけでもないでしょうが、これからの若者は多かれ少なかれそうした国際的な競争の中で生きていかざるを得ないという時代がまいてまいりました。さらには、採用、雇用形態の流動化が予想される中、社会に出てからも遅く自分の道を切り開いてゆく個人々の力をどのように大学時代に培ってもらおうのか、今までの大学教育の発想から一歩踏み出す、新しい構想と実行が求められているように感じます。

このような時代にあつて、本学もそうした現実を真正面から見据え、他大学に負けない魅力ある教育プログラム、魅力あるキャンパスライフを提供すべく、ここは全教職員の知恵と力を結集し、時には学生諸君やOB・OGの皆様と一丸となつて立ち向かわなければならぬと思つております。私もその先頭に立ち、本学の更なる発展のために全力を尽くしたいと思つております。どうか皆様にも本学への変わらぬご支援、よろしくお願ひ申し上げます。



# 前学長あいさつ

神奈川大学 前学長 中島三千男



## 心よりの感謝

### — 学長職を退任するにあたって —

2007年4月から2期6年間勤めた学長職を退任するにあたり、全国の卒業生、宮陵会の皆様に、この間のご支援に対し、心より感謝申し上げます。

今から、振り返りますと6年間はあっという間でした。3年9ヶ月間の副学長職、そして学長職6年間、併せて9年9ヶ月、約10年間、大学の執行部という立場で、1号館（本館）での生活が続きました。私は何事もやりだすとその事に突っ込んでしまうタイプですが、このように長い間、特に6年間の学長職を無事に務める事が出来たのも、卒業生の皆様の絶大なご支援の賜物だと思っております。心より御礼申し上げます。

宮陵会からは、奨学金やクラブ活動への支援など多大な御支援をいただきましたが、支部長様はじめ支部の皆さんには後援会の父母懇談会や宮陵会のプロック会議等で大変お世話になりました。また大変親しくお付き合いさせて頂きました。ただ、父母懇談会に御出席いただいた折、幾つかの会場では、お帰りの際、私が見送りを御礼の御挨拶が出来なかったことを深くお詫び申し上げます。

学長に就任して、初めて皆さんの前に顔を出したのは、6年前の5月に開かれた、支部長会議での挨拶だったかと思えます。その会議の後、元宮陵会会長の山田操先生から、ある女性会員が「変わった

学長さんね」と感想を洩らしていたことを伝えられました。そう、確かにこれまでの学長とはガラリと変わった、学長らしくない学長でした。もともと、何事も学者然と気取る事は好きではありませんでしたし、とくに学者世界の外で、いわば学問と全く違う世界で生きている人たちに對して、学者として虚勢を張る人は、自分の学問に對して自信のない現われだと軽蔑しておりました。こういう私の性癖がそのような感想を生んだのだと思います。

しかし、他方で私が意識してそのように振舞ったという点も事実です。それは、私が学長に就任した直後、全事務職員の前で、いつまでも今の神奈川大学の現状に安住するのはやめよう、もっと高い志を持つて前に進もうと語り掛けました。機を一にして、2008年の80周年記念式典で公表された、「将来構想」では、20年後の百周年にはベスト30の大学になると言う目標が掲げられました。

私は、この目標を達成するには尋常の事では達成できない、大学だけの力ではなく、卒業生団体・宮陵会やフロンティアクラブ、在学生の団体である後援会等の大きな力を思い切つて借りなければ、その目標は達成できないと思いました。これまで歴代の学長は、宮陵会等に対しては、つかず離れずの関係をとつてきました。これには、それなりの理由があつ

たことかと思いますが、私は思い切つて飛び込んで行きました。そういう私を快く迎え入れていただいた事に心より感謝申し上げます。

この6年間、箱根駅伝の不出場や法科大学院のことで、皆さん方には大変なご心配をお掛けいたしました。全体としては、志願者も目標とした3万3千人には到達しませんでした。3年連続して3万人台を確保、また偏差値も50台半ばと言う目標には届きませんでした。49台にまで下がった偏差値を51台にまであげ、2001年の水準に回復することが出来ました。今年85周年にあたり、100周年まで残り15年になりましたが、ベスト30の大学になると言う目標の礎は築くことができたと思っております。

最後に、新しい石積学長に對して、私同様、格別なご厚情を賜りますようお願い申し上げます。また、どうぞ「将来構想」の目標を必ず実現するために貴会を益々活性化させ、引き続き大学に對して強力な御支援を賜りますようお願い申し上げます。

これから、私は、10年間のプランクを取り戻すべく、研究者の生活に戻ります。もう、あまり、御目にかかる機会もないかと思いますが、皆様方一人一人のご健勝を心から祈念申し上げます。そして、神奈川大学をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

# 一般社団法人 神奈川大学宮陵会に 名称が変わりました。

平成24年5月26日開催の通常総会において、一般社団法人移行認可申請について、ご承認頂き、平成24年8月1日に神奈川県に一般社団法人移行認可申請を行いました。その結果、神奈川県公益認定等審議会に諮問され、平成24年10月12日開催の神奈川県公益認定等審議会において、「認可基準に適合すると認めるのが相当である」との答申が出されました。

神奈川県より平成25年3月18日に認可書が交付され、平成25年4月1日に一般社団法人への移行登記を行いました。

平成25年4月1日より社団法人宮陵会は、一般社団法人神奈川大学宮陵会として、活動を行うことになりましたので、お知らせいたします。

会員の皆様には、移行準備に際し、様々なご協力、ご支援を頂き大変感謝申し上げます。

## 一般社団法人に移行後の 宮陵会について

### 1. 名称

一般社団法人神奈川大学宮陵会となります。

### 2. 会員種別

この法人の会員の種別及び資格は、つぎのとおりとなります。

(1) 正会員 イ 横浜専門学校を卒業した者

□ 神奈川大学、同大学院及び神奈川大学短期大学部を卒業した者（大学院博士後期課程単位取得後退学を含む。）

ハ イ及びロに掲げる学校に在学した者で理事会で入会を承認された者

※会費未納者、住所不明者、正会員資格保留者等は、普通会员となります。

(2) 準会員 神奈川大学及び同大学院に在学する者

(3) 普通会员 正会員の資格を有する者のうちで会費未納中の者と所在不明の者等を普通会员とします。

(4) 賛助会員 この法人の目的に賛同して入会の申し込みをし、理事会で入会を承認された者

(5) 特別会員 学識経験者などで、理事会で推薦を受けた者

### 3. 社員総会（総会）

現在の代議員会、総会に代わり社員総会（定時総会）を年1回6月に開催します。臨時社員総会（臨時総会）は、必要に応じて随時開催します。

この社員とは、正会員から選出された代議員とします。

### 4. 代議員制

本会では、「会費を納めた正会員のうちから社員を選出するための選挙を行い、当該選挙により選出された者を任期付の社員とする。」いわゆる代議員制を採用します。

### 5. 役員（理事、監事）

(1) 理事、監事は、総会の決議によって、社員（代議員）の中から選出します。移行後の最初の選出は、移行後最初の社員総会（総会）となる平成25年6月に行います。

(2) 役員の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結の時までとします。また、再任を妨げません。

### 6. 社員総会（総会）での決議事項

従来代議員会、総会での決議事項であった、事業計画、収支予算案は、理事会での決議事項になります。したがって、社員総会（総会）では、収支決算報告の承認、その他定款ならびに法令に定める事項を決議します。事業報告は、報告事項になります。

### 7. 支部の位置づけ

一般社団法人に移行後、定款上に支部

を位置づけした場合、支部の事業、経理は本部と一体のものとして、事業報告、計算書類貸借対照表及び正味財産増減計算書等は支部も含めて法人全体のものを作成しなければなりません。しかし、支部を含めたものを作成することは、現状では非常に困難で、支部にとりましても過大な負担になります。したがって、定款上には支部を位置づけず、独立した法人格(人格なき社団)を異にするものとして位置づけます。

全国各地で活動する会員組織(従来の支部)には、助成金を従来どおり交付します。

内容は、一般社団法人神奈川大学宮陵会地域組織活動助成金取扱規則に定めています。

## 正会員の取扱について



1. 正会員の判断基準につきまして、つぎの取扱いとなります。(定款第5条第3項)
  - ① 判断基準日 4月1日
  - ② 判断基準日に住所が判明している会員
  - ③ 判断基準日に会費を納入している会員
2. 会費の納入につきまして、つぎの取扱いとなります。
  - ① その年度に未納になる会員並びに会費を滞納されている会員に

は今年度分として納付期限を年度末3月31日として会費を請求させていただきます。

- ② 納付期限までに納入していただいた場合、翌年度4月1日(納付期限の翌日)の正会員の判断基準より、会費が納入されている会員となり正会員として取扱いします。
- ③ 納付期限までに納入されない場合には、翌年度4月1日(納付期限の翌日)には、会費未納者となり、普通会员として取扱いします。
- ④ 納付期限を過ぎて、翌年度に納入された場合には、翌年度の会費の納入として取扱いします。
- ⑤ 翌年度は普通会员となり、翌々年度は、正会員となります。準会員費を納入されている卒業生は、翌年度4月1日に基本会費を納入されたものとします。

で、翌年度は、正会員として取扱いします。

## 宮陵会の 会員構成・組織について



1. 会員数………212、560名  
正会員数………52、818名  
会誌(年1回)、会報(年2回)送付者  
普通会员数………141、620名  
会費未納者………(40、658名)会報

(年2回)送付者

2. 代議員数………175名  
代議員選挙で正会員の中から選出 任期2年  
特別会員………会誌(年1回)、会報(年2回)送付者  
準会員数………18、112名(在学生賛助会員………会誌(年1回)、会報(年2回)送付者)

3. 役員数………定時総会にて代議員の中から選出 任期2年  
理事………20名  
監事………3名  
名誉役員数………理事会にて選任

4. 委員会  
顧問………2名  
参与………9名  
(1) 総務財政委員会  
(2) 組織委員会  
(3) 広報委員会  
(4) 事業委員会  
(5) 女性委員会

必要に応じて特別委員会が置かれます。

5. 地域組織(従来の支部)
  - (1) 地域………86
  - (2) 職域………25
  - (3) 同期・同好………34
 合計………145

## 平成25年度定時総会の開催について

平成25年6月15日(土)午後3時より神奈川大学16号館セレストホールで開催いたします。一般社団法人に移行に伴い定時総会は、平成24年度に実施しました代議員選挙で代議員に選出された代議員(社員)もって行います。

代議員の方は、別途ご通知申し上げます。

なお、正会員の方で、傍聴を希望される方は、会誌の変更届出用紙に氏名、住所、卒業年次学科、通信欄に定時総会の傍聴を希望する旨並びに定時総会終了後の懇親会に出

席を希望される方は、その旨を記載し、FAXもしくは郵送にて5月31日までご連絡ください。なお、懇親会は、会費として2,000円をご負担いただきます。当日お支払いください。

●FAX 045(413)0791

●住所 〒221-0802

横浜市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学内 一般社団法人神奈川大学宮陵会



## 平成24年度第2回代議員会が 開催されました。

平成25年3月2日(土)午後3時より神奈川大学16号館セレストホールにて代議員総数393名の内、出席127名委任状出席183名の計310名の出席を得て社団法人宮陵会としましては、最後になりました。代議員会が開催されました。



武笠健次代議員会議長の議事進行により、第1号議案平成25年度事業計画及び収支予算に関する件についてが審議され、質疑応答の後、原案どおり承認されました。

その後、出席者による懇親会を行い、予定の日程を終了しました。

## 平成25年度全国地域組織代表者会議の開催について

平成25年6月15日(土)午後1時より

神奈川大学16号館セレストホールで開催いたします。

今まで、隔年に実施しておりました全国支部長会議に代わり開催されるものです。

地域組織の代表者(従来の支部長)には、別途ご案内いたします。

内容は、「一般社団法人移行後の地域組織(今までの支部)の運営について」を行います。

## 女性会員のつどい

おいしいビールと  
おいしい食事で  
楽しい話が  
とまらない。

今年のイベントも、昨年の横浜港クルージング&ケーキバイキングのように「多くの女性会員に参加していただきたい。子ども連れで参加して欲しい。」と考え、横浜にある「キリン横浜ビアレッシュ工場見学&ランチを楽しむ会」を企画としましたが、春休みもまだ少し先のこの日、直前のグループでの申込者のキャンセルもあり、参加人数は7名だけという非常に淋しいイベントになってしまいました。

当日は、春一番が吹く風の強い日でしたが、暖かな日差しで春の訪れを感じさせる陽気でした。生麦駅に集合し、徒歩5分程度で工場へ到着すると、入口には、テレビコマーシャルでお馴染みの「ぐっさん」人形がお出迎えしてくれ、気持ち盛り上げてくれます。

いよいよスタート、ビールの原料ホップなどの実物を目で見て、触り、香りを感じたり、また缶ビールがとにかく尋常でない速さで詰められ流れていく様子など、圧巻のシーンが続きます。また、ビール瓶が軽くなり割れにくくなる

工夫など、日頃から見て触っていても気づかない進化を感じる事ができました。そして、喉も乾いた頃、試飲コーナーに到着し、思いの飲み物を注文して一口飲み干したところで、どこからともなく「私、こんなおいしいビール飲んだの生まれて初めてよ。」という声、「あー、この一言が聞けて、このイベントを企画したか良かった」と思えた瞬間でした。

その後、敷地内のレストランブアポルトに移動し、ランチタイムとなりました。大塚婦人部委員長の挨拶後、宮陵会佐藤専務理事による乾杯の後、すぐに話しの華が咲きだして止まりません。今回のイベントは、少人数でしたが、そのことあるのか、話の華は咲いたままで止むことがありません。日頃のストレスも、食べて、飲んで、お話して、また食べて...です。すっかり元気満開です。これぞ女性会員の「つどい」だなあと感じたりと時でした。

婦人部では、またこのような企画を開催してまいります。ご要望等ございましたら、ぜひ、宮陵会事務局まで、ご連絡くださいませ。次の機会にお会いできますことを楽しみにしております。

婦人部委員会委員長 大塚順子(59経)

平成25年3月9日

# 日本一に向けて!! 念願のシード権を獲得

## 舟橋道成さんに迫る

神奈川大学・水泳部監督

2012年9月7日～9日にかけて、東京辰巳国際水泳場で開催された第88回日本学生選手権水泳競技大会において、本学水泳部が女子総合5位に入賞し、念願のシード権を獲得した。

本誌では、本学水泳部をシード権獲得へと導いた、舟橋道成水泳部監督を取材し、部員への指導方針や念願のシード権獲得への道のり、更には、今後の目標について迫った。

舟橋氏は神奈川大学経営学部を平成6年度に卒業後、平成13年度より本学水泳部の監督に就任した。その4年後の平成17年、水泳部は神奈川大学の強化部に指定される。ここが水泳部にとっての転換期となったと、舟橋氏は語る。また、当時の様子を次のように語った。

「当時は、日本全国の高校やスイミングスクールにスカウティングへ出向いても、神大水泳部に入学したいと言う選手や、選手を神大に預けたいと言う指導者はほとんどいませんでした。当時は、本当に悔しい思いをしました。しかし、そこでこの悔しさが、必ず水泳部を強くして、

周りを見返してやると言う反骨心につながり、選手育成へのモチベーションにつながったのです。」

舟橋氏の選手育成方法は、徹底している。単に、各高校やスイミングスクールの指導者の信頼を得るために行っているのではない。技術面よりも、部員一人ひとりの心を成長させることに大切さを見出している。

「私が部員を指導する上で、大切にしているのは「心・技・体」と言う言葉です。特に「心」の部分を成長させることに重点をおいています。部員みんなには、大学で水泳を続けることが、自分の



Michinari Fumahashi

今後の人生にどのような影響を与えるのかを考えさせています。水泳を通して自分の人生を見つめることで、日頃の練習に対する取組みが変わり、技術面やフィ

ジカル面の成長につながると信じています。何よりこのような意識を持つことで、大学生として、更には人間として一回りも二回りも大きく成長してくれると考え



ています。」

この言葉にある通り、単に選手としての成長を求めるのではなく、人間としての成長を求める育成方針がある。そのため、監督就任時より部員一人ひとりと定期面談は欠かさないと言う。個々の部員が抱える、選手としての悩みや人としての悩みに真摯に向き合う姿が感じられた。

こうした舟橋氏の熱心な指導は、部員の精神面や技術面の成長へとつながり、オリンピック選手の輩出や男子による関東1部リーグでの優勝など本学水泳部の躍進につながった。

「今では、私の就任当初とはまるで異なり、神大に選手を預けたいと言う指導者の方々がたくさんいます。これは非常に喜ばしいことですが、自分の育成方針



を信じてついてきてくれたすべての教え子達に感謝したい。」と、舟橋氏は語る。そして、2012年、舟橋氏は手応えを感じていたと言う。

「2012年は、インカレ前に出場した大会での記録から見ても選手の成長は一目瞭然でした。このチームなら優勝できると確信しました。大会直前のチーム内のミーティングでもみんなに言いましたよ、『今までのインカレの歴史で、初シード獲得と初日本一を同時にやってのけた大学は、一校もない。今年の神大はそれを狙う。今回のインカレで、全員が個々に設定した目標をクリアすれば必ず優勝できるはずだ。』と。選手は半身半疑だったかもしれませんが、私は本気で『初シード・初優勝』を狙っていました。」  
この言葉通り、本学水泳部は9月の日本学生選手権において、女子400mリ

レーで2位、女子800mリレーで3位に入り、この種目で初めて表彰台に上がった。また、個人種目では、久保木怜選手（人間科学部4年）が女子200m背泳ぎで優勝、100m背泳ぎで3位、渡辺耶唯選手（人間科学部2年）が200mバタフライで3位、さらに松尾美鈴選手（経済学部1年）が400m個人メドレーで3位に入賞するなど好成績を収め、念願のシード権獲得に至った。

この結果について、舟橋氏は次のように語る。

「今の神大は、もっと上を目指せるチームです。実際に上にいる4校と力の差はないと考えています。『シード権を、獲得して良かったですね。』とありがたい言葉をいただきますが、やはり大会に出るからには優勝をしなければ意味がないと感じています。」

この言葉からは、力強さや勝負へのこだわりだけではなく、舟橋氏の水泳に対する情熱が感じられた。続けて、2013年の目標を次のように語ってくれた。

「今年は、もう一度基礎に戻り、選手には日本一につながる『心・技・体』を会得してもらいたいですね。その経験は、必ず選手が社会に出てからの財産になるはずですよ。」

今年も水泳部の活躍から目を離すことは出来ないであろう。今年の水泳部の活躍、そして舟橋氏の悲願達成を期待したい。

（編集委員 千葉 想太）



プロフィール

舟橋 道成（ふなはし みちなり）

平成6年度神奈川大学経営学部卒業。在学中は、本学水泳部に所属し200m自由形や200m個人メドレーなどで活躍した。平成13年度より神奈川大学水泳部監督に就任。現在は神奈川大学人間科学部非常勤講師。

今回の取材に際し、全国の宮陵会員へ、次のようなメッセージをいただいた。「いつも応援ありがとうございます。この2年以内に必ず母校・神大を日本一に導きますので、ご声援よろしくお願います。」



# 観客の大きな拍手が次へのエネルギーに！

## 今井慎吾さんに聞く

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

チーフステージマネージャー

公演を控えた前日、リハーサル前のホールを覗くと、指揮台、譜面台、イスなどの配置をスタッフに指示している今井慎吾さんの姿がありました。微妙なズレを修正しながら、自らも準備を進めています。その後もパート毎の団員の確認や指揮者との調整。全体のバランスに目を配りながら、リハーサルが行われました。

ここは、神奈川フィルの練習拠点である、かながわアートホール（横浜市保土ヶ谷公園）。リハーサルの合間に今井さんに話をお聞きしました。手に持っていたものはカップ麺。「会社員のように昼食時間がないので！」と遅い昼食を取りながら、親切に質問に答えてくれました。

— 神奈川フィルに入ったきっかけを教えてください。

中学ではトランペット、高校（湘南工大附属）では打楽器を担当していました。大学に入ってから、軽音楽サークル「TMP」で活動（今でもあるのかな、と懐かしむ）していました。

クラシックは、特に好きだったというのではなく、たまたま後輩が、

神奈川フィルでアルバイトをしていた関係で、私も一緒にやるようになり、今日に至りました。居心地が良かったんでしょうかね。

住まいが保土ヶ谷・和町だったので、大学とアートホールのどちらも至近距離で、掛け持ちが出来たことも続けられた要因かもしれません。

— ステージマネージャーというお仕事



Shingo Imai

手に持っているのは、金聖響さんからいただいた指揮棒。手元のケースは、はさみ、ペン、テープなどの「七つ道具」。

は、何をしているのか、一般の人にはわかりずらいと思いますが、具体的にどのようなことをなされているのでしょうか？

簡単に言えば「舞台監督」ですね。指揮者、演奏者、ソリスト、合唱等、すべての人が舞台上で気持ち良く力を発揮できる場をつくり上げることが使命だと思っています。

一方では、裏方として楽器移動の力仕事やスケジュール管理など、「何でも屋」でもあります。辛抱強く、世話好きな性格でないと出来ないのかもしれない。

— 神奈川フィルの顔といえば金聖響さ





# 神大初のオリンピックピック銀メダル獲得!!

## 矢野喬子さんに聞く

神奈川大学 経営学部OG

2007年3月に神奈川大学の経営学部を卒業した矢野喬子さんが、本学の卒業生、現役生の中で、オリンピックに出場し初の銀メダルを獲得した。また2011年には、女子ワールドカップで初の優勝に貢献した。矢野さんは、湘南学院高等学校を卒業し、2003年に神奈川大学の経営学部に入學した。

また大学入學と同時に、サッカー女子日本代表（なでしこジャパン）に選出され、2012年まで10年間選出され続けた。

そんな、矢野さんに今回、世界の頂点に至るまでの過程についてインタビューした。

— ロンドンオリンピック 銀メダル獲得おめでとうございます。また前年の女子ワールドカップ優勝おめでとうございます。日の丸を背負って世界のトップになった実感はどうですか。

ありがとうございます。結果的には世界のトップに立ちましたが、世界のトップになった実感は正直ありませんでした。逆に世界との差を感じ、さらに練習をしなくては世界の頂点には立てないと私個人はもちろ

— ロンドンオリンピックの選手全員がそのように感じたと思います。世界との差とは、具体的にどのようなところですか。

一番はパワーとスピード、体の大きさなどフィジカル面での差を感じました。逆にパスワーク等の技術面に関しては通用するという手応えがありました。

— 2011年に、ワールドカップで優勝した後、日本国民の反応が女子サッカーに対して変わったと思います

が、正直、ロンドンオリンピックで結果を出さなくてはいけないというプレッシャーはありましたか。

そのプレッシャーは、ものすごくありました。正直、2011年のワールドカップで優勝するとは思ってなかったですし、このように周囲の環境が変わったことにも驚きまし



Kyoko Yano

た。しかし、前々回の北京オリンピックで4位になった時、『次は優勝だ』と佐々木監督に言われ、そこから世界のトップになるた





めにはどうしたらいいか常に意識していました。

— 実際、どのようことを常に意識されていたのですか。

— 個人としては、フィジカル面での差を埋めるために基礎体力のレベルを上げることに重点をおきました。また練習や試合においても、このプレーはなでしこリーグでは通じるけども、代表では通じないということ意識し、プレーの面での精度も常に世界を意識してました。

— チームとして何か意識されたことはありますか

— チームとしては、北京オリンピック終了後から試合、練習終了後に選手だけでビデオを見ながら、ミーティングをするようになりました。全体だけのミーティングもあればグループでのミーティングもありました。これは選手が主体性を持って自分たちの意見を出し合い、細かい部分まで意思の統一をすることができ

ました。

— 表では見えてこない影ながらの努力があったからこそ、世界のトップになることができたのですね。今、改めて振り返ると、大学時代にどのようなことを得ましたか。

— 大学時代は、技術的な要素よりも勉強しながらサッカーをやるという文武両道のところと、仲間の大切さを一番学んだと思います。一緒にいる時間が長かった分、仲間と強い絆ができ、いろいろな辛い時や厳しい場面で支えてくれる仲間の大切さを学びました。

— 先日、現役引退を発表されていますが、今後はどのような活動をされていく予定ですか。

— 今後は、サッカーの指導者として活動をしていきたいと思っています。— どのような指導者になっていきたいですか。またどんなサッカーをしていきたいですか。

— まだ体が動くので、グラウンドで

一緒にプレーをしながら指導できる指導者になりたいです。目指すサッカーは、一人一人がたくさん状況の中で判断していくサッカーをしていきたいと思っています。これは、複数のボールを持っていない選手がどこに動き出したらいいか判断し、ボールを持っている選手がたくさんの選択肢の中から判断できる、そんなサッカーを目指していきたいと思っています。

— 最後に、卒業生、在校生のみなさんにメッセージをお願いします。

— 最初に、在学生のみなさんは、今いる身近な仲間だけでなく、クラブ、サークル、ゼミなどたくさん仲間を作って、人と人のつながりの大切さを学んでいただけたらと思います。

— 卒業生のみなさま、今まで学生時代からたくさん応援をいただいたばかりありがとうございます。そのおかげで、ロンドンオリンピック、ワールドカップと世界の舞台で活躍することができました。今後は、指導者として今まで支えてくれた人たちに恩返しができるようになりたいと思いますので、今後ともよろしくお願いたします。

「インタビューを終えて」

10年間、サッカー女子日本代表で活躍し、世界の頂点まで上り詰めた矢野さん。そんな矢野さんにインタビューをして、



— 周囲の環境とは裏腹に現状を冷静に分析し、現状に満足されていない点に強く驚かされました。

— 今後は、現役を引退し、新たな道へと進む「神大卒の矢野喬子」を一人のファンとして今後も応援していきたいと思っています。

— 今後の矢野さんの活躍に期待しましょう。

(編集委員 松澤 慶和)

プロフィール

矢野喬子(やの きょうこ)

● 生年月日 1984年6月3日

● 出身 神奈川県横浜市金沢区

● 選手経歴 湘南学院高等学校

神奈川大学

浦和レッズレディース

日本代表出場試合数74試合

(2003~2012)

# 平成25年度収支予算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(一般会計)

(単位:千円)

科目	24年度予算案	24年度実績見込額	25年度予算案	予算対比増減
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1.事業活動収入				
①基本財産運用収入	1	1	1	0
基本財産利息収入	1	1	1	0
②特定資産運用収入	148	197	150	2
特定資産利息収入	148	197	150	2
有価証券利息	0	0	0	0
③会費収入	115,370	119,088	115,370	0
正会員会費収入	5,370	7,598	5,370	0
基本会費	840	1,050	840	0
年会費	2,400	2,448	2,400	0
維持会費5年	900	2,690	900	0
維持会費10年	540	600	540	0
維持会費15年	600	810	600	0
終身会費	90	0	90	0
準会員会費収入	110,000	111,490	110,000	0
④雑収入	440	668	400	△40
受取利息収入	30	29	20	△10
雑収入	410	639	380	△30
<b>事業活動収入計</b>	<b>115,959</b>	<b>119,954</b>	<b>115,921</b>	<b>△38</b>
2.事業活動支出				
①事業費支出	150,303	138,564	125,523	△24,780
大学主催事業協賛費支出	5,500	5,400	5,500	0
給付奨学金支出	8,000	8,000	8,000	0
特別給付奨学金支出	12,000	12,000	12,000	0
特定給付奨学金支出	3,000	3,000	3,000	0
学生課外活動援助等事業費支出(クラブ活動等助成費)	6,000	6,000	6,000	0
学生課外活動援助等事業費支出(特別事業費)	2,908	2,294	2,908	0
学生課外活動援助等事業費支出(体育振興費)	2,698	2,698	2,698	0
学生課外活動援助等事業費支出(入学卒業関係費)	6,465	6,465	6,615	150
組織費支出	16,268	18,063	21,809	5,541
広報費支出	33,514	28,315	32,993	△521
事業諸費支出	2,950	280	4,000	1,050
法人移行準備費	21,000	16,049	0	△21,000
神奈川大学米田吉盛教育奨学金募金寄付金支出	20,000	20,000	20,000	0
東日本大震災被災学生支援寄付金支出	10,000	10,000	0	△10,000
②管理費支出	26,692	32,280	39,623	12,931
給料手当支出	5,850	5,613	5,850	0
派遣事務費	4,000	3,957	4,000	0
臨時雇用賃金支出	500	39	500	0
福利厚生費支出	880	948	1,000	120
慶弔費	1,000	1,104	1,100	100
会議費支出	2,091	2,547	4,197	2,106
旅費交通費支出	1,450	881	6,050	4,600
通信運搬費支出	1,078	9,557	6,361	5,283
消耗什器備品費支出	200	0	200	0
消耗品費支出	700	333	600	△100
印刷製本費支出	2,163	633	1,769	△394
賃借料支出	560	487	514	△46
委託費支出	5,430	5,430	6,582	1,152
雑支出	790	751	900	110
<b>事業活動支出計</b>	<b>176,995</b>	<b>170,844</b>	<b>165,146</b>	<b>△11,849</b>
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△61,036</b>	<b>△50,890</b>	<b>△49,225</b>	<b>11,811</b>
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1.投資活動収入				
特定資産取崩収入	20,000	20,000	49,000	29,000
神奈川大学米田吉盛教育奨学金募金寄付金事業取崩収入	20,000	20,000	20,000	0
奨学金運用事業取崩収入	0	0	0	0
給付奨学金・クラブ活動助成事業取崩収入	0	0	29,000	29,000
<b>投資活動収入計</b>	<b>20,000</b>	<b>20,000</b>	<b>49,000</b>	<b>29,000</b>
2.投資活動支出				
①特定資産取得支出	230	209	200	△30
有価証券取得支出	0	0	0	0
奨学金積立金支出	230	209	200	△30
②他会計への繰入金支出	0	0	0	0
奨学金運用会計への繰入支出	0	0	0	0
<b>投資活動支出計</b>	<b>230</b>	<b>209</b>	<b>200</b>	<b>△30</b>
<b>投資活動収支差額</b>	<b>19,770</b>	<b>19,791</b>	<b>48,800</b>	<b>29,030</b>
<b>III 財務活動収支の部</b>				
財務活動収支差額	0	0	0	0
<b>IV 予備費支出</b>				
予備費支出	30,903	0	40,645	9,742
<b>当期収支差額</b>	<b>△72,169</b>	<b>△31,099</b>	<b>△41,070</b>	<b>31,099</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>72,169</b>	<b>72,169</b>	<b>41,070</b>	<b>△31,099</b>
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>0</b>	<b>41,070</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

# 本部だより

平成25年度事業計画・収支予算書  
 各種委員会開催状況  
 理事会開催状況  
 代議員会  
 通常総会  
 監査  
 女性会員のつどい

教職  
 支部総会の予定  
 新支部紹介  
 同期同好会開催状況  
 平成24年度表彰者  
 新支部長紹介

## 平成25年度 事業計画・収支予算書

### ■平成25年度事業計画

#### I 神奈川大学の進展と維持に 必要な事業

#### 1. 神奈川大学教育振興事業

##### ① 神奈川大学事業協賛寄付 等

・ 大学一般公開講座の協賛  
 神奈川大学が主催する一般公開講座への協賛。  
 ・ ホームカミングデーへの協賛等

神奈川大学が主催するホームカミングデーへの協賛等。

卒業祝賀行事の共催

新卒業生に対し、卒業祝賀会費用等を大学、後援会と分担し援助。

#### ② 神奈川大学在学 課外活動等支援事業

##### ・ 学生課外活動助成金

在学生特別事業  
 在学生等に対する講演  
 会及びスポーツ大会の開催。

・ 学生課外活動助成金  
 体育振興事業  
 競技大会参加費、OB  
 指導者交通費の助成

#### ③ 神奈川大学「教育振興基金」への指定寄付

神奈川大学教育振興基金  
 規程第6条第1項に関する寄付

#### ④ 学校法人神奈川大学「米田吉盛教育奨学金」募金への指定寄付

「神大スポーツ・文化振興会」賛助金募集  
 神奈川大学のクラブ・サークルに対する賛助金の募集。

#### ⑤ 学校法人神奈川大学総務

##### ③ 貸与奨学金

一時的経済的困窮の学部  
 学生に対する学費の資金  
 としての貸与奨学金

#### II 会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事業

##### 1. 会員間の情報共有事業として、会誌「宮陵」62号の発行、「宮陵会報」96号・97号の発行他広報事業。会誌は、正会員に送付。会報は、住所判明者全員に送付。

##### 2. 会員の連携を深めるための事業

① 全国地域組織代表者会議の開催

② 地域組織の活動に対する支援、助成

・ 地域組織総会本会出席  
 時祝金、交通費及び地域組織総会資料発送通

本部だより ■■■■

4. 新入生(準会員)への記念品
3. 組織の設立、再建への支援  
地域組織設立準備、再建支援のための助成。
2. 組織基盤確立のため、地域講演料、参加地域組織の旅費交通費助成。
1. ブロック会議への支援  
ブロック会議開催地域組織経費助成、講演者への講演料、参加地域組織の旅費交通費助成。

5. その他目的達成に必要な事業  
● 平成25年度定時総会の開催  
● 平成25年6月 理事会の開催  
● 財政基盤の確立  
● 会費納入の促進  
● 財政基盤確立のため、未納会員に納入案内を継続的にを行い、未納会員の納入促進に努める。
4. 本部関係  
● 平成25年度定時総会の開催  
● 平成25年6月 理事会の開催
3. 贈呈  
● 平成25年度定時総会の開催  
● 平成25年6月 理事会の開催
2. 財政基盤の確立  
● 会費納入の促進  
● 財政基盤確立のため、未納会員に納入案内を継続的にを行い、未納会員の納入促進に努める。
1. 「神奈川大学校友V.I.S Aカード」の入会促進及び提携店の拡大

- 平成24年4月24日(火) 宮陵会理事会開催状況 (平成24年11月末現在) 会員数408名
- 1、平成23年度収支決算報告に関する件
  - 2、平成24年度補正予算に関する件
  - 3、表彰規程にもとづく被表彰者の決定に関する件
  - 平成24年7月27日(金) 議案  
1、代議員定数に関する件
  - 2、支部設置承認に関する件

- 平成24年10月2日(火) 議案
- 1、定款変更に伴う関連規則・規程の制定・改正に関する件
  - 2、一般社団法人神奈川大学宮陵会地域組織活動助成金取扱規則の運用に関する件
  - 平成24年12月3日(月) 議案  
1、平成24年度第2回代議員会の招集に関する件
  - 2、平成25年度一般社団法人神奈川大学宮陵会定時総会の招集に関する件
  - 3、定款変更に伴う関連規則・規程の制定・改正に関する件
  - 4、一般社団法人神奈川大学宮陵会地域組織活動助成金取扱規則の運用に関する件
  - 平成25年2月8日(金) 議案  
1、平成25年度事業計画及び収支予算について

- 平成24年5月26日(土) 議案
- 1、平成23年度収支決算報告について
  - 2、平成24年度事業計画の変更及び補正予算について
  - 3、一般社団法人への移行認可申請について
  - 4、代議員選挙の実施について
  - 平成25年3月2日(土) 議案  
1、平成25年度事業計画及び収支予算について

- 平成24年5月26日(土) 議案
- 1、平成23年度収支決算報告について
  - 2、平成24年度事業計画の変更及び補正予算について
  - 3、一般社団法人への移行認可申請について
  - 4、代議員選挙の実施について
  - 平成25年3月2日(土) 議案  
1、平成25年度事業計画及び収支予算について

## 平成25年度収支予算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(奨学金運用特別会計)

(単位：円)

科 目	24年度予算案	24年度実績見込額	25年度予算案	予算対比増減
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
①基本財産運用収入	0	0	0	0
基本財産利息収入	0	0	0	0
②奨学貸付金回収収入	19,000,000	20,749,185	19,000,000	0
貸付金現年度回収	6,000,000	7,165,500	6,000,000	0
貸付金過年度未回収額回収	13,000,000	13,583,685	13,000,000	0
③一般会計繰入金	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
④雑収入	30,000	155,459	30,000	0
受取利息	30,000	56,580	30,000	0
雑収入	0	98,879	0	0
事業活動収入計	19,030,000	20,904,644	19,030,000	0
2.事業活動支出				
奨学貸付金支出	35,000,000	19,790,000	35,000,000	0
貸付金支出	35,000,000	19,790,000	35,000,000	0
事業活動支出計	35,000,000	19,790,000	35,000,000	0
事業活動収支差額	△15,970,000	1,114,644	△15,970,000	0
II 投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
貸付金増減額	16,000,000	△959,185	16,000,000	0
貸付金増減額	16,000,000	△959,185	16,000,000	0
投資活動収入計	16,000,000	△959,185	16,000,000	0
投資活動収支差額	16,000,000	△959,185	16,000,000	0
III 貸付金充当				
貸付金充当	161,607,958	0	161,763,417	155,459
当期収支差額	△161,577,958	155,459	△161,733,417	△155,459
前期繰越収支差額	161,577,958	161,577,958	161,733,417	155,459
次期繰越収支差額	0	161,733,417	0	0

- 平成24年10月2日(火) 議案
- 1、定款変更に伴う関連規則・規程の制定・改正に関する件
  - 2、一般社団法人神奈川大学宮陵会地域組織活動助成金取扱規則の運用に関する件
  - 平成24年12月3日(月) 議案  
1、平成24年度第2回代議員会の招集に関する件
  - 2、平成25年度一般社団法人神奈川大学宮陵会定時総会の招集に関する件
  - 3、定款変更に伴う関連規則・規程の制定・改正に関する件
  - 4、一般社団法人神奈川大学宮陵会地域組織活動助成金取扱規則の運用に関する件
  - 平成25年2月8日(金) 議案  
1、平成25年度事業計画及び収支予算について

- 平成24年5月26日(土) 議案
- 1、平成23年度収支決算報告について
  - 2、平成24年度事業計画の変更及び補正予算について
  - 3、一般社団法人への移行認可申請について
  - 4、代議員選挙の実施について
  - 平成25年3月2日(土) 議案  
1、平成25年度事業計画及び収支予算について

- 平成24年5月26日(土) 議案
- 1、平成23年度収支決算報告について
  - 2、平成24年度事業計画の変更及び補正予算について
  - 3、一般社団法人への移行認可申請について
  - 4、代議員選挙の実施について
  - 平成25年3月2日(土) 議案  
1、平成25年度事業計画及び収支予算について



28日	三重支部総会	22日	佐賀支部総会	21日	福岡支部総会	14日	栃木支部総会	11日	静岡西部支部総会	7日	群馬支部総会	6日	帯広支部総会	7月3日	神奈川大学会計人会支部支部総会	26日	箱根支部総会	24日	京滋支部総会	23日	近畿ブロック会議	17日	三浦半島支部総会	16日	岡山支部総会	9日	保土ヶ谷・旭区支部総会	技部OB会支部総会	
3日	岩手支部総会	11月2日	横濱信用金庫支部	27日	千葉支部総会	21日	神大吹奏楽部OB	14日	神大柔道部OB・OG会支部東北地区総会	13日	西多摩支部総会	10月6日	四国ブロック会議	30日	奈良支部総会	29日	北陸ブロック会議	22日	東北ブロック会議	8日	北海道ブロック会議	2日	神奈川大学同学生会	9月1日	神奈川大学体育会	8月25日	因幡支部総会	29日	兵庫支部総会

3日	岩手支部総会	11月2日	横濱信用金庫支部	27日	千葉支部総会	21日	神大吹奏楽部OB	14日	神大柔道部OB・OG会支部東北地区総会	13日	西多摩支部総会	10月6日	四国ブロック会議	30日	奈良支部総会	29日	北陸ブロック会議	22日	東北ブロック会議	8日	北海道ブロック会議	2日	神奈川大学同学生会	9月1日	神奈川大学体育会	8月25日	因幡支部総会	29日	兵庫支部総会
3日	岩手支部総会	11月2日	横濱信用金庫支部	27日	千葉支部総会	21日	神大吹奏楽部OB	14日	神大柔道部OB・OG会支部東北地区総会	13日	西多摩支部総会	10月6日	四国ブロック会議	30日	奈良支部総会	29日	北陸ブロック会議	22日	東北ブロック会議	8日	北海道ブロック会議	2日	神奈川大学同学生会	9月1日	神奈川大学体育会	8月25日	因幡支部総会	29日	兵庫支部総会

3月5日	珊瑚の会支部総会	24日	藤沢支部総会	23日	佐世保支部総会	17日	筑豊支部総会	16日	熊本支部総会	20日	茅ヶ崎・寒川支部	19日	島根支部総会	1月3日	香川支部総会	8日	宮崎支部総会	12月1日	広島県支部総会	23日	函館支部総会	18日	新潟支部総会	16日	秋田支部鹿角会総会	11日	宮城支部総会	10日	神大卓球部OB会
3月5日	珊瑚の会支部総会	24日	藤沢支部総会	23日	佐世保支部総会	17日	筑豊支部総会	16日	熊本支部総会	20日	茅ヶ崎・寒川支部	19日	島根支部総会	1月3日	香川支部総会	8日	宮崎支部総会	12月1日	広島県支部総会	23日	函館支部総会	18日	新潟支部総会	16日	秋田支部鹿角会総会	11日	宮城支部総会	10日	神大卓球部OB会

33 経	渡邊 武	42 法	福岡 勝夫	33 経	渡辺 光男	20 経	茅ヶ崎・寒川支部	19 日	島根支部総会	1 月 3 日	香川支部総会	8 日	宮崎支部総会	12 月 1 日	広島県支部総会	23 日	函館支部総会	18 日	新潟支部総会	16 日	秋田支部鹿角会総会	11 日	宮城支部総会	10 日	神大卓球部OB会	支部総会	神奈川大学硬式野球部OB会支部総会	神奈川大学スリング部	神大レスリング部	神奈川大学自動車工学研究部	新規設立支部
33 経	渡邊 武	42 法	福岡 勝夫	33 経	渡辺 光男	20 経	茅ヶ崎・寒川支部	19 日	島根支部総会	1 月 3 日	香川支部総会	8 日	宮崎支部総会	12 月 1 日	広島県支部総会	23 日	函館支部総会	18 日	新潟支部総会	16 日	秋田支部鹿角会総会	11 日	宮城支部総会	10 日	神大卓球部OB会	支部総会	神奈川大学硬式野球部OB会支部総会	神奈川大学スリング部	神大レスリング部	神奈川大学自動車工学研究部	新規設立支部

33 経	渡邊 武	42 法	福岡 勝夫	33 経	渡辺 光男	20 経	茅ヶ崎・寒川支部	19 日	島根支部総会	1 月 3 日	香川支部総会	8 日	宮崎支部総会	12 月 1 日	広島県支部総会	23 日	函館支部総会	18 日	新潟支部総会	16 日	秋田支部鹿角会総会	11 日	宮城支部総会	10 日	神大卓球部OB会	支部総会	神奈川大学硬式野球部OB会支部総会	神奈川大学スリング部	神大レスリング部	神奈川大学自動車工学研究部	新規設立支部
33 経	渡邊 武	42 法	福岡 勝夫	33 経	渡辺 光男	20 経	茅ヶ崎・寒川支部	19 日	島根支部総会	1 月 3 日	香川支部総会	8 日	宮崎支部総会	12 月 1 日	広島県支部総会	23 日	函館支部総会	18 日	新潟支部総会	16 日	秋田支部鹿角会総会	11 日	宮城支部総会	10 日	神大卓球部OB会	支部総会	神奈川大学硬式野球部OB会支部総会	神奈川大学スリング部	神大レスリング部	神奈川大学自動車工学研究部	新規設立支部

16 00	グラントホテルニュー王子	44 建	菊池 稔	43 経	大山 健一	43 法	三谷 洋勝	41 機	小田 晃治	38 賢	小沢 梯	37 工	野田 宗義	32 電	中川 良光	31 法	伊藤 義雄	26 電	安藤 力	50 経	渡辺 静雄	44 電	穴田 哲夫	特別表彰	本部関係	感謝表彰	1、本部関係	33 経	渡邊 武	42 法	福岡 勝夫	33 経	渡辺 光男	20 経	茅ヶ崎・寒川支部	19 日	島根支部総会	1 月 3 日	香川支部総会	8 日	宮崎支部総会	12 月 1 日	広島県支部総会	23 日	函館支部総会	18 日	新潟支部総会	16 日	秋田支部鹿角会総会	11 日	宮城支部総会	10 日	神大卓球部OB会	支部総会	神奈川大学硬式野球部OB会支部総会	神奈川大学スリング部	神大レスリング部	神奈川大学自動車工学研究部	新規設立支部
16 00	グラントホテルニュー王子	44 建	菊池 稔	43 経	大山 健一	43 法	三谷 洋勝	41 機	小田 晃治	38 賢	小沢 梯	37 工	野田 宗義	32 電	中川 良光	31 法	伊藤 義雄	26 電	安藤 力	50 経	渡辺 静雄	44 電	穴田 哲夫	特別表彰	本部関係	感謝表彰	1、本部関係	33 経	渡邊 武	42 法	福岡 勝夫	33 経	渡辺 光男	20 経	茅ヶ崎・寒川支部	19 日	島根支部総会	1 月 3 日	香川支部総会	8 日	宮崎支部総会	12 月 1 日	広島県支部総会	23 日	函館支部総会	18 日	新潟支部総会	16 日	秋田支部鹿角会総会	11 日	宮城支部総会	10 日	神大卓球部OB会	支部総会	神奈川大学硬式野球部OB会支部総会	神奈川大学スリング部	神大レスリング部	神奈川大学自動車工学研究部	新規設立支部

スケート部(スピード部門)

新支部長紹介

- 長崎支部 高名 洽(41賢)
- 因幡支部 松島 徹(46法)
- 神大レスリング部OB会支部 松田 孝一(H16国経)
- 宮崎支部 矢野 義博(45法)

叙勲

旭日単光章を受章されました。  
三浦 学氏(38応化)

瑞宝小綬章を受章されました。  
福岡 勝夫氏(42法)

旭日小綬章を受章されました。  
石井千太郎氏(33短機)

訃報

謹んでお悼みやみ申し上げます

福田 進殿 (39法)  
代議員・元理事  
平成24年12月15日

支部総会の予定

- 近畿ブロック会議 和歌山支部総会 平成25年6月8日(土)
- 兵庫支部総会 平成25年7月14日(日)
- 北海道ブロック会議 苫小牧支部総会 平成25年9月7日(土)

# 支部だより

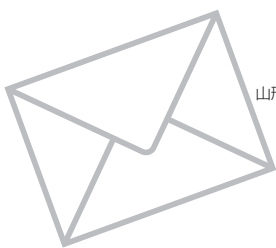
## 北海道ブロック会議 (室蘭支部総会)

平成24年9月8日

- ① 理事長 伊藤 文保  
秘書室長 瀬田 高央  
専務理事 大場 憲治  
ホテルサンルート室蘭
- ② 41名道内各支部16名、室蘭支部22名、来賓3名
- ③ 9月8日日本来なら過ぎ易い初秋のころ、北海道室蘭も猛暑の中北海道ブロック会議が、来賓3名、道内支部より16名、室蘭支部22名計41名の参加により開催されました。
- ④ 来賓の伊藤理事長、大場専務理事により大学の現況、地方学生への支援体制、横浜キャンパス新3号館の建設、宮陵会の活動報告、O Bに託して一番関心のある箱根駅伝等報告されました。又今回鉄道の町室蘭のポルト、ナット等で作った神大駅伝メンバーをイメージし



た、たすきをかけた走るポルタ人形を参加者全員に記念品として贈りました。  
懇親会では、札幌支部のアカペラ男性合唱、ビンゴゲームで室蘭の名産品を景品に贈り、室蘭焼き鳥を食べ最後に全員で校歌を歌い泉澤幹事長のエールで懇親会を閉



- 北海道ブロック会議(室蘭支部総会)  
東北ブロック会議(秋田支部総会)  
北陸ブロック会議(石川支部総会)  
近畿ブロック会議(大阪支部総会)  
中国ブロック会議(岡山支部総会)  
四国ブロック会議(高知支部総会)  
九州ブロック会議(大分大会)
- 札幌支部総会  
函館支部総会  
帯広支部総会  
苫小牧支部総会  
北見支部総会  
岩手支部総会  
秋田支部総会  
山形支部総会  
山形県支部庄内地区会  
宮城支部総会  
新潟支部総会  
石川支部総会  
茨城支部総会  
栃木支部総会  
千葉支部総会  
群馬支部総会  
群馬東毛支部総会  
静岡西部支部総会  
愛知みやも会支部総会  
岐阜支部総会  
三重支部総会  
大阪支部北摂地区会  
和歌山支部総会  
兵庫支部総会  
奈良支部総会  
京滋支部総会  
広島支部総会  
防長宮陵会支部総会  
伯耆支部総会  
因幡支部総会  
島根支部総会  
香川支部総会  
愛媛支部宇和島地区会  
福岡支部総会  
筑豊支部総会
- 北九州支部総会  
佐賀支部総会  
長崎支部総会  
佐世保支部総会  
熊本支部総会  
鹿児島支部総会  
神奈川大学同学会上海支部  
神奈川大学同学会大連支部  
磯子区支部総会  
神奈川区支部総会  
南区支部総会  
保土ヶ谷・旭区支部総会  
戸塚・栄区支部総会  
横浜北支部総会  
港南区支部総会  
藤沢支部総会  
相模原支部総会  
西多摩支部総会  
南定宿支部総会  
三浦半島支部総会  
津久井支部総会  
茅ヶ崎・寒川支部総会  
平塚支部総会  
秦野支部総会  
三洋みやも会支部総会  
神奈川大学内校友会支部総会  
横浜信用金庫支部総会  
神奈川大会会計人支部総会  
社労士支部  
みやも電産支部総会  
珊瑚の会支部総会  
原陵会支部総会  
神奈川大学ボクシング部OB会支部総会  
神奈川大学陸上競技部OB会支部総会  
神大バスケットボール部OB会支部総会  
神大空手部OB会支部総会  
神大柔道部OB・OG会支部総会  
神奈川大学ラグビー部副部30周年式典・OB会支部(せだつ会)総会  
神大卓球部OB会支部総会  
神奈川大学体育会コト部副部50周年記念式典OB会支部(せだつ会)総会  
神奈川大学学士山岳会支部総会  
神奈川大学硬式野球部OB会支部総会  
神奈川大学写真研究部OB会支部総会

- ① 大学・宮陵会からの出席者
  - ② 開催場所
  - ③ 参加人数
  - ④ 開催コメント
  - ⑤ 支部活動(年間予定)
- ※支部名は県名略

## 東北ブロック会議 (秋田支部総会)

平成24年9月22日

- ① 常務理事 正野 幸延  
総務部長 原田 浩行  
副会長 平能 孝一  
アキタパークホテル
- ② 43名(秋田支部23名)
- ③ 毎年の事ですが、参加者するメンバーが同じになっております。
- ④ 今年の目標は、新しく会員名簿を作成して総会の参加者を増やす活動をしていきます。
- ⑤ 1、平成24年7月7日  
第1回役員会9名  
2、平成24年8月18日  
第2回役員会9名

## 北陸ブロック会議 (石川支部総会)

平成24年9月29日

- ① 常務理事 正野 幸延  
歴史民俗資料学研究所教授 田上 繁  
副会長 小川 勲夫  
金沢都ホテル
- ② 50名
- ③ 北陸ブロック会議で、小川副会長より状況説明いただき現在全国7ブロックがあり、信越、関東、長野はなし、平成会員の掘り起こしと共にアプローチする北陸ブロックの福井、富山、石川の各支部長より、現況説明、引き続き支部総会に移り規約の改正案の相談、名譽相談役、常任幹事の相談、など支部の基盤強化と発展に向けた取り組みの承認と新支部長に宮嶋清明、副支部長に花岡鉄男・杉原豊春、新事務局長に山本正芳の体制の承認を得る。
- ④ 続いて、田上繁教授による「北陸の歴史から新たな近世史像を構築



## 近畿ブロック会議 (大阪支部総会)

平成24年6月23日

- ① 常務理事 正野 幸延  
副会長 小川 勲夫  
大阪私立生会館
- ② 38名
- ③ 大阪支部総会終了後近畿ブロック会議を開催、冒頭に大学の正野常務理事より大学全般にわたる近況報告を兼ねてのご挨拶の後、議事に入り本部よりご出席の小川副会長を軸に宮陵会の一般社団法人移行後の各支部のあり方や名称等多くの課題について討議がなされま



- ① 講演会では、校友神大院H2年卒である大阪大学大学院理学研究科の梶原康宏教授による「バイオ医薬」についての講演をしていただき、出席者全員が興味深く聴講しました。
- ② 一連のプログラムが進み最後の懇親会に移った際サプライズがありました。
- ③ 突然会場にいられたのが、政府の中核で活躍されている内閣官房副長官である校友(44年法卒)の齋藤勲衆議院議員でした。実は、根来支部長より内々で出席要請を受けた出張先より帰途出席くださったとのことでした。
- ④ 会場内では、和太鼓が演奏される中、衆議院議員と化学者の出席もあいつつ懇親の輪が広がりました。この意気高く大いに盛り上がった一日でした。
- ⑤ 1、平成24年度支部総会  
6月23日(土)  
2、地区会「北摂会」の開催  
10月6日(土)予定  
女子サッカーリーグ「高槻一湯郷」観戦及び懇親会  
3、忘年会の開催  
12月8日(土)予定  
4、各種同好会  
(1)ひろく旅する会・秋季にパノコクへ  
(2)スポーツ同好会・支部長杯





- ⑤ 懇親会では、昭和23年度卒の先輩のお話や、ゴルフコンペの表彰式などを行い、歓談中は、学生時代の思い出を話しました。最後には、恒例となりました、校歌・応援歌、寮歌を合唱し、盛会のうち閉会いたしました。支部テーマと方針
- ④ 中国ブロック会議総会中、岡山支部の参加者は、大学の最近の状況を映したDVDを上映し、大学の現状、将来構想を共有しました。
- ③ 岡山支部総会では、昨年の活動報告並びに今年度の活動方針を発表し、参加者からの承諾を得ました。
- ② 懇親会では、昭和23年度卒の先輩のお話や、ゴルフコンペの表彰式などを行い、歓談中は、学生時代の思い出を話しました。最後には、恒例となりました、校歌・応援歌、寮歌を合唱し、盛会のうち閉会いたしました。
- ① 常務理事 正野 幸延  
事務局次長兼人事部長 佐藤 武  
専務理事 平能 孝一  
副会長 ホテルエクスセル岡山 36名

**中国ブロック会議 (岡山支部総会)**  
平成24年6月16日

① 常務理事 正野 幸延  
事務局次長兼人事部長 佐藤 武  
専務理事 平能 孝一  
副会長 ホテルエクスセル岡山 36名

② 中国ブロック会議総会中、岡山支部の参加者は、大学の最近の状況を映したDVDを上映し、大学の現状、将来構想を共有しました。

③ 岡山支部総会では、昨年の活動報告並びに今年度の活動方針を発表し、参加者からの承諾を得ました。

④ 懇親会では、昭和23年度卒の先輩のお話や、ゴルフコンペの表彰式などを行い、歓談中は、学生時代の思い出を話しました。最後には、恒例となりました、校歌・応援歌、寮歌を合唱し、盛会のうち閉会いたしました。

⑤ 同窓会の親睦とコミュニケーション  
・中国ブロック全体の友好の輪を広げる。  
支部総会 年1回  
幹事会 年4回  
ゴルフ大会 年2回を予定している。

**九州ブロック会議 (大分大会)**  
平成24年9月8日

- ① 常務理事 正野 幸延
- ② 副会長 宇野 峰雪
- ③ レンブラントホテル大分 75名
- ④ 平成24年9月8日に大分市のレンブラントホテル大分にて宮陵会九州ブロック会議大分大会が総勢77名で行われた。
- ⑤ 大分支部から参加者33名、九州他県からの参加者42名でした。大変



- ⑤ 10月支部総会 四国ブロック会香川の参加校友有志による親睦ゴルフ大会
- ④ 翌日曜日には、土佐の日曜日そして坂本龍馬銅像を太平洋から眺めるクルーズそしてゴルフ大会を楽しく行いました。
- ③ 4年に1度の四国ブロック会の開催県として他県支部との懇親を深めた。
- ② ホテル日航 高知旭ロイヤル 53名
- ① 常務理事 正野 幸延  
副会長 宇野 峰雪  
事務局 根本 郁恵

**四国ブロック会議 (高知支部総会)**  
平成24年10月6日

- ① 常務理事 正野 幸延
- ② 副会長 宇野 峰雪
- ③ 事務局 根本 郁恵
- ④ ホテル日航 高知旭ロイヤル 53名
- ⑤ 4年に1度の四国ブロック会の開催県として他県支部との懇親を深めた。

**札幌支部総会**  
平成24年6月2日

- ① 学長 中島三千男
- ② 専務理事 佐藤 武
- ③ 京王プラザホテル札幌 64名
- ④ 総会は、鈴木英司支部長の挨拶に始まり、宮陵会本部より佐藤専務理事が出席され、お祝いの言葉と宮陵会活動の現況等が報告されました。続いて平成23年度の支部活動報告、決算、平成24年度の事業計画・予算が審議され全会一致で承認されました。
- ⑤ 引き続き行われた講演会は、中島三千男神奈川大学学長「日本人の戦争観」と題し、研究されているご専門分野をご講演いただきました。講演後はせっかくの機会ということで学長への質問タイムを設け、会員からの質問に真摯にお答えをいただきました。

平成24年9月8日  
社団法人宮陵会九州ブロック会議となりました。



**函館支部総会**  
平成24年11月23日

- ① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
- ② ホテル テトラ本店 15名
- ③ 宮陵会より、佐藤武専務理事に出

⑤ 支部活動平成24年度年間予定  
6月 札幌支部総会、父母懇談会 参加  
7月 札幌支部親睦ゴルフ会  
8月 夏のビール会  
9月 北海道ブロック会議参加 (室蘭支部)  
12月 忘年会  
1月 新年会

④ 函館支部総会  
平成24年11月23日

③ 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武

② ホテル テトラ本店 15名

① 宮陵会より、佐藤武専務理事に出



**帯広支部総会**  
平成24年7月6日

- ① 内部監査室長 久米 信行
- ② 副会長 小川 勲夫
- ③ 帯広ワシントンホテル 20名
- ④ 今年度は、前回が22年度の終了間際の開催となった反省も込め、早めに準備を進めましたが、参加人数も久しぶりの20名台に乗せたことと大学を卒業したばかりの若い新会員の参加があり、会員一人ずつの近況報告でも在学生の思い、出話に花が咲き大変盛り上がる会となりました。

⑤ 来年は箱根駅伝が多少期待できるとの情報があり、有志一同回体応援を実施する。  
支部活動の活性化を検討する。  
・北海道ブロック会議の参加

④ 帯広支部総会  
平成24年7月6日

③ 内部監査室長 久米 信行  
副会長 小川 勲夫

② 帯広ワシントンホテル 20名

① 今年度は、前回が22年度の終了間際の開催となった反省も込め、早めに準備を進めましたが、参加人数も久しぶりの20名台に乗せたことと大学を卒業したばかりの若い新会員の参加があり、会員一人ずつの近況報告でも在学生の思い、出話に花が咲き大変盛り上がる会となりました。



**宮崎支部総会**  
平成24年5月12日

- ① グランドホテルニュー王子 21名
- ② 会員21名参加のもと5月12日土日に総会・懇親会を開催することができた。
- ③ 今回は初参加2名があり自己紹介、また学生時代に戻った気分が盛り上がり、かなりの方々が二次会まで参加されました。

**宮崎支部総会**  
平成24年5月12日

- ① グランドホテルニュー王子 21名
- ② 会員21名参加のもと5月12日土日に総会・懇親会を開催することができた。
- ③ 今回は初参加2名があり自己紹介、また学生時代に戻った気分が盛り上がり、かなりの方々が二次会まで参加されました。





- 今年役員改選の年でありましたが、もう1期継続で承認された。
- 平成24年度
- ⑤ 支部総会開催
  - ・5月12日 ゴルフコンペ開催
  - ・7月22日 ゴルフコンペ開催
  - ・8月 榎前カントリー
  - ・9月8日 第1回パークゴルフ大会予定
  - ・10月 ブロック会議於いて室蘭支部長以下4名出席
  - ・11月 第2回 第1回パークゴルフ大会開催予定
  - ・1月 役員新年会兼ブロック会議開催打合せ
- 役員新年会兼ブロック会議開催打合せ

**北見支部総会**  
平成24年6月23日

- ① 事務局次長 稲垣 俊博
  - ② 専務理事 大場 憲治
  - ③ 網走市 ホテルしんばし
  - ④ 21名 来賓2名
- 今年度の支部総会は神奈川大学、宮陵会からのご臨席を賜り網走市での開催となりました。橋爪支部長の挨拶の後、大場専務理事、稲垣事務局次長から宮陵会及び大学の現状と取り組み等についてのお話を伺いました。
- その後、支部会員の自己紹介を終え、議事に入りました。今年は役員改選の年に当たっておりましてが全員留任となり、来年度の支部総会は6月8日(土)の予定で紋別市開催となりました。最後に米田



- ① ホテルメトロポリタン盛岡
  - ② 事務局次長 勇 真一郎
  - ③ 副会長 平能 孝一
  - ④ 34名
- 今年度は、3・11東日本大震災の影響もあり2月に新年会と併せて23年度総会を開催したため短期間に慌ただしく行事をこなす日程となった。総会の議事については原案通り承認された、また、岩手支部の活動を長年支え、ご尽力された先輩方5名への宮陵会表彰が行われた。念願であった若手会員の参加も平成卒会員が11名参加して、明るい兆しが見え始めたのだという感が伺えた。納涼ビアバ

**岩手支部総会**  
平成24年11月3日

- ⑤ 平成卒業の会員2名が出席しての懇親会でしたので、ちよっと若返ったような雰囲気のおかげで和やかに歓談され、終わりに校歌を合唱し閉会した。
- ⑥ H24年7月 支部会員に平成24年度支部総会資料及び支部会員名簿発送
- ⑦ H24年9月8日 第15回北海道ブロック会議(サントリー室蘭)
- ⑧ 支部長・事務局長 参加予定



- ② ホテルガーデンかわむら
  - ③ 6名
  - ④ 総会は、安村会長(30法)の挨拶で始まり、9月24日秋田市で開かれた秋田支部総会と東北ブロック会議の報告並びに本会の活動報告があった。引き続き、田口裕(49寛)の鹿角市議としての活動報告がなされた。
- 平成5年1月22日に発足した本会が、創立20周年を迎えるにあたり記念事業の実施を求める要望があった。

**秋田支部鹿角会**  
平成24年11月16日

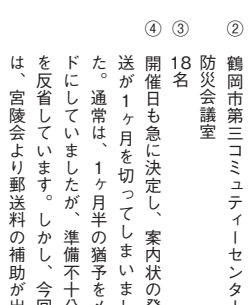
- ⑤ 1ティーで学生への案内をはじめ4年になるが少しずつ、着実に支部活動が実ってきている。主な支部活動
- ⑥ 2月 岩手支部定時総会・特別講演会・新年交賀会(35名出席)
- ⑦ 6月 岩手支部レクリエーション交流会(ホーリング大会6名参加、懇親会14名参加)
- ⑧ 7月 阿世知君を励ます会(10名参加)
- ⑨ 8月 阿世知君のデビュー観戦ツアー(4名参加)
- ⑩ スタッフ、学生との交流会
- ⑪ 岩手支部納涼ビアパーティー(18名参加)
- ⑫ ※学生向けPRポスターを学内に貼付
- ⑬ 9月 宮陵会、東北ブロック会議
- ⑭ 11月 秋田支部主催(4名参加)
- ⑮ 11月 支部総会



- ① 事務局次長 勇 真一郎
  - ② 専務理事 大場 憲治
  - ③ 山形国際ホテル
  - ④ 33名
- 遠い所を、33名の支部総会に御出席頂き、心から御礼申し上げます。ただ、村山地区は県の中心部であり、最大の在籍会員が最多の地区でも少し参加者があるかなと予想していたのですが、
- 記念講演の講話も良かったし、「ボランティア駅伝」の上映も心に響くものがありました。小生も県支部の役に付く前は、地元開催の総会に出ればよいと思っていた一人ですが、幹事長という役に付き中心になってこの会を開催する

**山形県支部総会**  
平成24年10月27日

- ⑤ 本会創立20周年記念事業理事会で検討
- ⑥ 通年行事の多数開催理事会で検討
- ⑦ 宮陵会活動への積極参加
- ⑧ 神大知名度の更なるアップの為の方策



- ② 鶴岡市第三コミュニティセンター 防災会議
- ③ 18名
- ④ 開催日も急に決定し、案内状の発送が1ヶ月を切っていました。通常は、1ヶ月半の猶予をメドにしていますが、準備不十分を反省しています。しかし、今回は、宮陵会より郵送料の補助が出

**山形支部庄内地区会**  
平成24年8月25日

- A 県内四地区が積極的な活動し、参加することで地区内の卒業生の情報交換を行い確認する事。
- B 大学本部を通し本部及び全国支部の情報発信を御願いし活用する。
- C 大学本部からの課外活動(スポーツ・文化・体験等の依頼には積極的に協力し、母校神奈川大学のブランドイメージアップの為努力する。
- D 在校生及び保護者との交流への道を模索しその中で、母校神奈川大学への情報発信とその地位向上に努力する。
- E 東北ブロック会議には積極的に参加し、各支部との交流を図り、その有益なるものを県支部活動に加え活用する。
- F 今年度より、料金受取人払いのハガキを導入し、総会への出席をより正確に把握し、現在、住所不明者となって居る会員の住所判明を期待している。



- ① 情報システム推進部長 金丸壽男
  - ② 副会長 小川勲夫
  - ③ ホテルレオパレス仙台
  - ④ 34名
- 今年度の支部総会は、従来どおり、11月第2土曜日を旨でしたが、依然として会場不足が続いており、1日遅れて日曜日の開催となりました。
- 総会は、在校当時の応援団長小林保博氏(S37電卒)の指揮による「校歌斉唱」で始まり、浅野支部長の挨拶後、母校金丸部長様から、「大学の現況」のご報告と在校生がボランティアで襷をつなぐ「K U東北ボランティア駅伝」のDVD放映があり、学生たちの活動

**宮城支部総会**  
平成24年11月11日

- ⑤ 2月上旬に新年会を予定、これも恒例行事です。
- とという事もあり、昨年までは、かなり案内状の発送を限定しておりました。(会の経済状態もあり)お蔭様で、今年度は98%に近い会員に案内できましたが、出欠の返事があったのは30%、今後に期待しているところです。
- 同じ庄内でも鶴岡(田川地区)と酒田(飽海地区)とは気質が大きく違い其れをどの様に克服しようとめるかが今後の課題と言えらると思えます。



努力を感慨深く視聴した。また、宮陵会小川副会長様からは「法人化や財政状況」のご報告があり、会員の相互協力の必要性を痛感させられた。

その後議事に入り、浅野支部長の議長で進められ、「平成24年度事業報告・収支決算報告」「25年度事業計画案・予算案」が承認され、今年度も「気仙沼地域との交流促進」をさらに発展させていくことや「女性会員・若手会員の参加意識の啓蒙活動」を重点的に行うこととした。

また、議事終了後、総会セミナーとして、塚健氏(S48経卒)から「気仙沼市大島における(第1回漁民史文庫を語る会)を開催して」の講演後、懇親会となった。

今年も出席者は、昨年と同じ34名となったが、新たな顔も見受けられ、旧交を深められた。しかし、今年も女性会員の出席がなかったことや出席者の大半が昭和50年以前卒業の会員で、特に平成年度卒業が少なかったことから、お互いに声掛け合って、活性化が図られるよう確認し、最後に元氣よく応援歌を斉唱して、盛会のうちにお開きとなった。

- ①、宮陵会「東北ブロック会議」への出席 平成24年9月22日(土) 秋田市
- ②、「宮城支部総会」の開催 平成24年11月11日(日)レオパレス仙台
- ③、平成25年度開催予定 平成25年11月9日(土)レオパレス仙台

- ④、宮陵会事業への女性会員及び若手会員の参加意識の啓蒙
- ⑤、会員名簿の整理及び管理
- ⑥、会員間による同業種・異業種の交流及び情報交換の促進
- ⑦、懇親ゴルフコンへの開催 4月・10月

**新潟支部総会**

平成24年11月18日

① 事務局次長兼財務部長



永和田 隆一  
宇久田 進治

- ② 専務理事 宇久田 進治
- ③ 新潟東急イン
- ④ 11月18日(日)新潟駅前、新潟東急インにおきまして大学より永和田事務局次長様・本部より宇久田進専務理事様をお迎えし、総勢19名(内女性2名)で開催いたしました。

日曜日開催ということもあつて、出席者が少なかったのですが、盛会の中に、終える事ができました。

⑤ 11月 支部総会 開催予定

**石川支部講演会(遠野市本町市長)**

平成25年2月22日

- ① 金沢市文化ホール・大集會堂 35名全参加者200名
- ② 東日本大震災の後、若手県遠野市に神大「東北ボランティア駅伝」として教職員や学生を派遣していた事は宮陵会報などで知られていた。

そんな折、遠野市を訪問した金沢の「輝きネットいしかわ」代表の桑原豊氏から高校の同級生にあたる宮嶋支部長に「遠野市の本町市長の講演会を金沢で開催するが、校友会(宮陵会)との共催に出来ないか」との申し入れがあり、役員会で了承された。

その後、宮嶋支部長は支部会員への案内状送付のため、宮陵会本部の協力を受け、約750名の会員に案内状を郵送した。当日は、雪の降る生憎の天候だったが、支部会員35名、一般市民合



神奈川大学

わけて200名が会場に集まり、本町市長の講演を拝聴し、本町市長は、ビデオスライドを使い日頃からの防災訓練を活かした後方支援活動を展開した事や、近隣の被災地の状況などについて話され、聴衆は静かに聞き入り、講演が終わった時、激励と感謝の大きな拍手が送られていた。

**茨城支部総会**

平成24年6月16日

- ① 研究支援部次長 田口 澄也
- ② 理事 橋本 正俊
- ③ 潮来ホテル
- ④ 21名

潮来市のホテル潮来にて(社)宮陵会茨城支部総会が開催されました。宮陵会より橋本理事、大学より田口次長にご出席を頂き、宮陵会、大学の今後の方向のお話を頂き難うございました。



企画もありまして和氣諸々と想いの時間を過ごすことが出来ました。総会、懇親会と予定通りの進行にて無事終了することができました。役員改選にて桜田支部長の再選が決まり、また次回の開催地は始めての県西地区開催を約束しました。

⑤ 来期の県西開催に向けて秋頃(10月)より地区役員黒田氏を中心に準備活動へ入ります。(開催場所選定、スタッフの選定、関係づくり)

**栃木支部総会**

平成24年7月14日

- ① 学修進路指導部 一部事務部長 明比 卓
- ② 副会長 宇野 峰雪
- ③ ホテルニューイタヤ
- ④ 22名

平成7年以来しばらく休眠状態の栃木支部でしたが、この度活動を本格的に再開できしことを報告します。

また、今後は実りある活動を継続させ、支部役員の相互親睦を深め職域を越えて情報交換の場としていきたいです。現役学生が、来県した際には、力になりたいと考えています。

⑤ 7月14日 支部総会



**千葉支部総会**

平成24年10月27日

- ① 事務局次長兼人事部長、専務理事 佐藤 武
- ② 体育振興委員長 手塚 正
- ③ 居酒屋「酔虎伝」J.R津田沼駅北口
- ④ 44名

宮陵会専務理事の佐藤氏、体育振興委員長手塚氏を迎えての千葉の集いであった。

数年前より総会参加者より参加費を下げてほしいという声もあり、本年は、居酒屋を借りきつての開催とし、参加人数の増を見込んだ。昨年より6名の増であったが、目標の50名には届かなかった。(反省)

会は、ソプラノ歌手の松本さん、OBの菊池さん(H4西語の歌声もあり盛り上がった。最後に母校の発展を祈り、佐藤氏(S43法)のリードのもと応援歌、校歌を歌い



散会となった。

- ⑤ ・箱根駅伝への支部有志による沿道応援及び大手町ゴールでの応援
- ・千葉支部役員、総会に関する打合せ、2ヶ月に1回程度
- ・千葉支部による母校見学のパスツアーの計画

**群馬支部総会**

平成24年7月7日

- ① 平塚事務部次長 鈴木 勉
- ② 副会長 宇野 峰雪
- ③ エテルナ高崎 39名
- ④ 23年度事業報告、会計報告、監査報告が承認されたあと、役員改選が行われ久保田支部長が再任、一部役員が新旧交替しました。続いて24年度の事業計画が示され閉会。

来賓の鈴木次長、宇野副会長から大学、宮陵会の近況報告をしていただきました。恒例の箱根駅伝必勝ダルマの贈呈のあと懇親会に入り、世代を超えた出席者のもと終始盛り上がりしました。今年も、応援指導部五人の演技もあり、花を添えていただきました。

⑤ 1、総会・懇親会の開催

⑥ 2、箱根駅伝必勝ダルマの贈呈





- 3、陸上駅伝の富士見合宿を激励
- 4、スケートショートトラックの東日本大会応援
- 5、県内での運動部の合宿を激励
- 6、箱根駅伝予選会応援
- 7、親睦ゴルフコンへの開催(2回)
- 8、旅行、歩こう会、飲み会やサークルの活動
- 9、父母懇談会への参加
- 10、新年会の開催
- 11、役員会の開催(2、3回)

**群馬東毛支部総会**  
平成24年6月23日

- ① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
- ② ホテルバインヒル太田
- ③ 19名
- ④ 宮陵会本部より佐藤武専務理事様にご臨席頂き、宮陵会の一般社団法人化等、会の運営に関する報告及び現役学生の諸活動等丁寧にご報告頂いた。
- ⑤ 総会は、23年度の事業報告・決算・24年度計画・予算等、原案とあり承認された。



又、当支部の設立から長らく支部長として会の運営にご尽力された寺田前支部長が病氣急逝の報告もされ、皆でご冥福を祈った。

和やかな歓談、カラオケ等盛りだくさんの趣向の後、神大校歌の大合唱で大々となり総会を終了した。

平成24年度の主な活動としては、総会・役員会に加えて支部会員相

**静岡西部支部総会**  
平成24年7月11日

- ① 図書館事務部長 堀江 美由紀 専務理事 大場 憲治
- ② オークラクトシティホテル浜松
- ③ 35名
- ④ 本年度は、浜松市役所都市整備部の内山俊宏さんを講師にお迎えし、浜松城を中心とする区域一体の将来構想「セントラルパーク構想」について、お話をいただきました。
- ⑤ また今回は例年と趣向を変え、試験的に平日の夜に開催しました。予想以上の大勢の方にご参加いただき、自己紹介等を含めゆっくりと親睦を深める事が出来ました。



また今回は例年と趣向を変え、試験的に平日の夜に開催しました。予想以上の大勢の方にご参加いただき、自己紹介等を含めゆっくりと親睦を深める事が出来ました。

年間に3回(4月、6月、9月)役員会を開催し、総会の打ち合わせや校友会活性化について意見交換を行っております。

女性部についても、役員会を開催し、今後の女性部活性化について打ち合わせしております。

**愛知みやも会支部総会**  
平成24年6月23日

- ① 国際センター事務部長 池原 治 副会長 平能 孝一
- ② 東京第一ホテル錦
- ③ 19名
- ④ 当会総会は、大学より国際センター事務部長池原治様、宮陵会副会長平能孝一様の出席を賜り、6月23日に東京第一ホテル錦にて開催されました。総会では、各議案を会長が議長により説明、承認されました。当支部の会員の出席率の悪さを如何に高めるかが議題であると共に、大学及び宮陵会の増々の援助が必要とされる事を会長より依頼し、来賓2名の祝辞を戴きました。
- ⑤ その後、懇親会に入り、例年の如く、シャンソンのライブを楽しみ来年の再会を期して散会した。

**岐阜支部総会**  
平成24年9月8日

- ① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
- ② 岐阜キャッスルイン
- ③ 18名
- ④ 昨年長年にわたる休眠状態から脱却し、支部活動を再開しましたが、発起人であり、支部長に就任されたた鶴岡茂夫様(S31号)が急逝されたため、全員で黙祷をささげたのち総会に移りました。
- ⑤ 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
- ⑥ 6月 定時総会
- ⑦ 9月 秋季ゴルフコンペ
- ⑧ 10月 三河地区会員懇親会



当会総会は、大学より国際センター事務部長池原治様、宮陵会副会長平能孝一様の出席を賜り、6月23日に東京第一ホテル錦にて開催されました。総会では、各議案を会長が議長により説明、承認されました。当支部の会員の出席率の悪さを如何に高めるかが議題であると共に、大学及び宮陵会の増々の援助が必要とされる事を会長より依頼し、来賓2名の祝辞を戴きました。

その後、懇親会に入り、例年の如く、シャンソンのライブを楽しみ来年の再会を期して散会した。

**三重支部総会**  
平成24年7月28日

- ① 広報部長 水上 晃
- ② 専務理事 佐藤 武
- ③ ホテルグリーン津
- ④ 23名
- ⑤ 平成25年6月・役員会 (総会前の打合せ) 9月・支部総会開催
- ⑥ 役員改選を行い、支部長に砥上忠久氏(S35機)が就任されました。写真撮影の後、懇親会に移り、駅伝チームの現状など話し合いながら、出席者は17名で少なかつたものの、こじんまりとしてなごやかな雰囲気での終わることができました。
- ⑦ 平成25年6月・役員会 (総会前の打合せ) 9月・支部総会開催
- ⑧ 役員一同で出席者を増やす策を検討していく。



役員改選を行い、支部長に砥上忠久氏(S35機)が就任されました。写真撮影の後、懇親会に移り、駅伝チームの現状など話し合いながら、出席者は17名で少なかつたものの、こじんまりとしてなごやかな雰囲気での終わることができました。

平成25年6月・役員会 (総会前の打合せ) 9月・支部総会開催

**大阪支部北摂地区総会**  
平成24年10月6日

- ① アンシエルデ・マリアージュ
- ② 13名
- ③ なでしこリーグ「スベランツア大阪高槻」VS「岡山湯郷BIBO」を高槻市立総合スポーツセンター陸上競技場で観戦した。当日、秋晴れの観戦日和となった。
- ④ 試合結果は(高槻1-4湯郷)となった。両チームに神大OGが出場
- ⑤ 1月2、3日 箱根駅伝
- ⑥ 19日 第31回交流会
- ⑦ 3月 第2回役員会
- ⑧ 3月 第3回役員会
- ⑨ 4月 総会準備他
- ⑩ 総会



してきた「交流会」を事務局担当として今年度から実施することも決定されました。

懇親会では、初めての参加者もあり、和気藹々と情報交換をすることが出来ました。

(目的) 世代・地域をこえたネットワークづくり

(目標) 交流会出席者 毎回20名

○今後の活動予定 (2012年)

10月15日 箱根駅伝予選会 40校出場 枠9

21日 第30回交流会

11月4日 大学駅伝選手権 沿道応援

(2013年)

1月2、3日 箱根駅伝

19日 第31回交流会

3月 第2回役員会

3月 第3回役員会

4月 総会準備他

総会

**和歌山支部総会**  
平成24年6月16日

- ① 健康科学スポーツ支援部長 辻 洋一 専務理事 大場 憲治
- ② ホテルグランヴィア和歌山
- ③ 21名
- ④ 異支部長の挨拶、そしてスポーツ支援部辻部長よりクロスカントリー施設、野球場の人口芝、新校舎建設、教育支援センター等々の報告がありました。
- ⑤ 又、現在、和歌山県出身の在校生が8名と報告を受けました。大場専務理事からは、宮陵会の一般社団法人移行や奨学金制度、東日本大震災への支援活動の報告がありました。
- ⑥ 今回 役員改選期であり、新たに
- ⑦ 湯郷BIBOの松岡女史(H21卒)がゴールを決めた場面のはかOG3名全員の頑張る姿を見ることが出来、楽しいサッカー観戦となった。
- ⑧ また、試合中に副支部長の辰巳氏(最長老)と地区会幹事の湯浅氏が、ウォーミングアップ中の湯郷の水鳥女史(H24卒)に声をかけたところ、愛くるしい笑顔で「こんにちは」と挨拶され、すがすがしい気持ちになったとのこと。
- ⑨ 地区会開催 ..10月6日(土) 女子サッカーリーグ「高槻-湯郷」観戦及び懇親会 ..12月8日(土)予定 忘年会







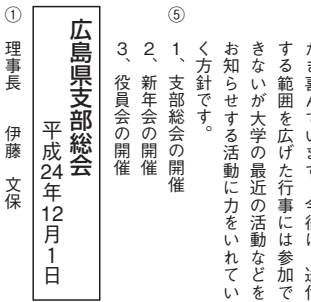
- 浦副支部長、木下副幹事長が承認され、総会を終えました。
- ⑤ 平成24年度予定  
平成24年9月1日 会報「神和会」発行
- 平成24年10月予定 ゴルフ会  
平成25年2月予定 新年会  
平成25年6月8日(土) 支部総会・近畿ブロック会議
- 兵庫支部総会**  
平成24年7月29日
- ① 副学長 石積 勝  
専務理事 佐藤 武  
舞子ヒラ神戸
- ③ 34名
- ④ 第60回兵庫県支部総会(午線の集い)をまさに午線の明石市舞子ヒラにて、7月29日に開催致しました。
- 事業報告・会計報告・監査報告に続き、当日の基調講演「東日本大震災に対する神奈川大学の取り組み」ボランテティア駅伝の考え方、実施のスライド等を取り易く、石積先生から聴く事が出来ました。神奈川大学の理念である質実剛健、積極進取の精神が脈々と流れている事を強く感じた次第であります。
- ⑤ 1、年間4～5回の役員会  
2、近畿ブロック会議への参加  
3、大阪・奈良・和歌山・京滋各支部総会への参加  
4、新年会又は忘年会の開催  
5、兵庫支部総会

- ④ ③ ② ①
- 京滋支部総会**  
平成24年6月24日
- ① 学長室次長 武井 正善  
経済学部教授 田中 弘  
副会長 小川 勲夫  
京都新阪急ホテル  
18名
- 総会の後神奈川大学経済学部田中教授により「知られざる『会計戦争』」日本の富はどこへ行くのか」と題して講演をしていただきました。
- 年々参加者が高齢となり少なくなってきた。若い人を勧誘する



- ⑤ 支部総会10月  
友好ゴルフコンペ 春4月・秋10月  
夫婦同伴、知人等の参加を集い輪広げている。
- ④ 24年度支部総会は台風接近による大荒れの天候のなか開催されました。
- ③ 参加会員は5名と支部総会が始まって以来の最少員数となり、今後の開催が危惧される状況となりました。
- ② しかし、出席会員からは、広報等ではなく、「一生の話が聞けること」「一番だ」との発言を頂きました。継続することの大切さを痛感しました。
- ① 支部総会10月  
友好ゴルフコンペ 春4月・秋10月  
夫婦同伴、知人等の参加を集い輪広げている。
- ⑤ 6、神大のスポーツクラブへの応援
- 奈良支部総会**  
平成24年9月30日
- ① 事務局次長 勇 真一郎  
副会長 平能 孝一  
橿原観光ホテル  
5名

- ④ ③ ② ①
- 広島支部総会**  
平成24年12月1日
- ① 理事長 伊藤 文保  
秘書室長 瀬田 高央  
副会長 小川 勲夫  
ホテルグランドヴィア広島  
93名(来賓含む)
- 当支部総会も平成24年度で設立から5回目の節目を迎え、今回も多数の会員の皆様にご参集いただきました。
- また、今年度は、宮陵会本部から小川副会長にご出席いただいたうえ、学校法人神奈川大学からも伊藤理事長にご多忙のなかご臨席いただき、懇親会では、多くの会員の方々が一人方とはなされており、今総会も盛会裏のうちに幕を



- ⑤ 閉じることが出来ました。
- ・ 役員会の開催計3回を予定うち1回は平成24年11月に開催(済)
- ・ 第6回支部総会開催準備平成25年3月(11月の間で随時)
- ・ 神奈川大学後援会主催の父母懇談会への出席
- ・ 第5回「社団法人宮陵会中国ブロック会議」総会の開催詳細未定
- ※今年事業年度中に既に実施済みのもの
- ④ 第5回支部総会の開催12月
- 防長宮陵会支部総会**  
平成24年6月2日
- ① 内部監査室長 久米 信行  
専務理事 大場 憲治  
山口グランドホテル  
24名
- ④ 昨年は、会長の病いの為、開催出来ず2年ぶりの開催に成りました。
- ③ 支部と大学から2名の来賓を迎え、詳しくそれぞれの近況と将来展望を聞くことが出来ました。
- ② 数年ぶりに参加してくれた同窓生もおられ、お互いの健康と今後の活躍をたえたえあった。
- ① 支部総会の開催  
2、新年会の開催  
3、役員会の開催



- ④ ③ ② ①
- 伯耆支部総会**  
平成24年7月14日
- ① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武  
米子ニューアーバンホテル  
30名
- ④ 宮陵会より専務理事佐藤武氏をご

- 来賓にお招きいただき、第24回総会を開催しました。
- 総会終了後、本年で5回目を迎える特別講演として、54年留卒の税理士川内豊明氏による「相続について」を、会員一同は有意義に拝聴しました。
- 出席者 最年長の青砥氏S20年専経卒と最年少の泰氏H24年人間科学卒には、70才近い年令差があり、世代を超えた交流は、大きく盛り上がりました。
- 24年7月 支部総会・懇親会  
25年1月 新年五例会  
25年6月 会員増員活動  
全国総会・中国ブロック総会への参加
- ⑤ 平成24年8月25日
- 因幡支部総会**
- ① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武  
鳥取シティホテル  
24名
- ② 本部より佐藤専務理事のご参加をいただき出席会員24名で開催。
- ③ 松島支部長を議長とした総会の中で池上博行副支部長へ国土交通大臣表彰のお祝いをしました。支部から大学に対してスポーツ振興寄付金を贈呈し懇親会に移り、佐藤様から大学と宮陵会の報告をいただきました。
- ④ 活動としてゴルフや釣りに加えボーリングも企画することと大学カラーのブラッドブルーのポロシャツを総会や活動で着用するように輪旋しました。懇親会では、想い



- ④ ③ ② ①
- 香川支部総会**  
平成25年1月3日
- ① 事務局次長兼人事部長 佐藤 武  
副会長 平能 孝一  
オークラホテル高松  
39名
- ④ 平成25年1月3日(木)正午から香川支部総会を開催した。
- 総会後、写真撮影を行い、午後1時から懇親会に移った。箱根駅伝復路を会場TVで観戦し、カラオケ駅伝、ジャンケンゲームなど会員相互で親睦と交流を深め合うことができた。今回初参加の方も2名おり、今後、参加者の関心を高めていくための一層PRが必要と感じている。なお、香川支部は創立60周年を迎えたので、記念誌を作成し参加者に配布した。
- ⑤ 24・1・3 香川支部総会(神大レポート第8号発行)
- 役員会  
6・23 東日本大震災義援金の送付  
7・5 香川支部創立60周年記念誌作成委員会設立  
9・2 2012日本学生

- 出や近況が披露され大いに盛り上がりました。
- ⑤ 総会 年1回 8月上旬  
役員会 年3回程度  
親睦会 ゴルフ、釣り、ボーリング 各1回程度  
中国ブロック会議等出席



- ④ ③ ② ①
- 香川支部総会**  
平成25年1月3日
- ① 事務局次長兼人事部長 佐藤 武  
副会長 平能 孝一  
オークラホテル高松  
39名
- ④ 平成25年1月3日(木)正午から香川支部総会を開催した。
- 総会後、写真撮影を行い、午後1時から懇親会に移った。箱根駅伝復路を会場TVで観戦し、カラオケ駅伝、ジャンケンゲームなど会員相互で親睦と交流を深め合うことができた。今回初参加の方も2名おり、今後、参加者の関心を高めていくための一層PRが必要と感じている。なお、香川支部は創立60周年を迎えたので、記念誌を作成し参加者に配布した。
- ⑤ 24・1・3 香川支部総会(神大レポート第8号発行)
- 役員会  
6・23 東日本大震災義援金の送付  
7・5 香川支部創立60周年記念誌作成委員会設立  
9・2 2012日本学生



- ⑤ 10月 四国ブロック会を開催  
地区)  
鳥、大洲、西条の3
- ④ 出席人数は少なかつたですが、皆さん、元気がいいでした。二次会では、大いに盛り上がりました。来年度は、さらにしっかりと取り組みを行います。
- ③ 6、7月 地区総会を開催(宇和島、大洲、西条の3地区)
- ② 松山市 国際ホテル
- ① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武

**愛媛支部総会**  
平成25年2月2日

- 時 間 11月 観音寺大会応援  
四国ブロック会高松市)
- 12・15 役員会
- 12・28 香川支部60周年記念誌納品
- 25・1・3 香川支部総会(香川支部60周年記念誌発行)
- 5、7月 夏季親睦行事
- 8月 2013日本学生トリアスロン選手権観音寺大会応援
- 11月 四国ブロック会高松市)
- 時 間 役員会の開催
- 9・17 観音寺大会応援  
神奈川大学地方父母懇談会(JRホテルクレメント高松)
- 10・6 四国ブロック会出席(高知市)
- 10・7 四国ブロック会交流会(参加海の美術館クルーズ)
- 10・17 ライアスロン選手権  
観音寺大会応援  
神奈川大学地方父母懇談会(JRホテルクレメント高松)



- ④ 22名
- ③ 24年福岡支部「会員のついで」オリンピックロンドン大会！全日本大学駅伝！そして箱根駅伝！へ話題集中
- ② 青春時代の望郷の想いが凝縮されていると言えはばはり大学駅伝、難コースへ力いっぱい果敢に挑戦し、力走する後輩たちの雄姿に感動し、精気と希望を得て、後輩へのメッセージとして語り継がれる。
- ① 事務局次長 勇 真一郎  
副会長 平能 孝一  
居酒屋「表郎」
- ⑤ 1、2月 支部総会を開催  
1、2月 支部総会を開催

**福岡支部総会**  
平成24年7月21日

- ④ 治氏が出席  
午後4時より開催、地区会長酒井氏より開会の挨拶が有り、来賓挨拶では愛媛支部長より四国支部会(今年は高知県で)開催される事、神奈川大学のスポーツ(駅伝より女子サッカー)が目玉されているとの報告があり、45分程度で閉会し、懇親会に移り、楽しい2時間をすごし、次回(5月)の再会を期し、閉会しました。
- ③ 10名
- ② 宇和島国際ホテル
- ① 愛媛支部より天野誠治氏、八木健治氏が出席  
午後4時より開催、地区会長酒井氏より開会の挨拶が有り、来賓挨拶では愛媛支部長より四国支部会(今年は高知県で)開催される事、神奈川大学のスポーツ(駅伝より女子サッカー)が目玉されているとの報告があり、45分程度で閉会し、懇親会に移り、楽しい2時間をすごし、次回(5月)の再会を期し、閉会しました。
- ⑤ 地区会開催5月中を予定



- ⑤ 4月3日 三支部ゴルフコンペ(北九州、福岡、筑豊)  
於：西日本カントリークラブ 14名参加
- ④ 22名
- ③ 22名
- ② 直方市 料亭「佐賀屋」
- ① 広報部次長 吉原 勇樹  
専務理事 大場 憲治
- ⑤ 後輩たちよ、われわれ神大OBと神大フアンの想いは全日本大学駅伝優勝、箱根駅伝総合優勝！今回「One Step」全日本大学駅伝関東地区予選会突破、8年振り出場！おめでとうございませう。

**筑豊支部総会**  
平成25年2月17日

- ④ 年に2名位新しい出席者が増えて  
いる事は、大変喜ばしい事です。  
この一、二年、福岡、北九州支部との交流がゴルフコンペを行う事により活発になってきており、今年も北九州から5名、福岡から3名の参加があり、貸し切ったスナックでの2次会も13名が出席して、和気藟々の中にも大いに盛り上がり、来年度の箱根駅伝でのシード入りを願いながら散会しました。
- ③ 22名
- ② 直方市 料亭「佐賀屋」
- ① 広報部次長 吉原 勇樹  
専務理事 大場 憲治
- ⑤ 後輩たちよ、われわれ神大OBと神大フアンの想いは全日本大学駅伝優勝、箱根駅伝総合優勝！今回「One Step」全日本大学駅伝関東地区予選会突破、8年振り出場！おめでとうございませう。



- ⑤ 8月25日(土) 在校生交流会(熊本支部担当)
- 9月7日(土) 九州ブロック会議(熊本支部担当)
- 3月30日(土) 役員会観覧会(観山)
- 3月30日(土) 役員会観覧会(観山)
- 平成25年 九州ブロック会議
- ④ 福岡支部から3名、筑豊支部から4名の参加を頂きまして、大いに盛り上がりまして、意見の交換が盛んになりました。
- ③ 26名
- ② ホテルクラウンパレス小倉
- ① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
- ⑤ 7月21日 福岡支部総会に参加(支部長)
- 9月8・9日 九州ブロック大会に参加(4名)
- 12月1日 北九州支部総会に参加(4名)

**北九州支部総会**  
平成24年12月1日

- ④ 福岡支部から3名、筑豊支部から4名の参加を頂きまして、大いに盛り上がりまして、意見の交換が盛んになりました。
- ③ 26名
- ② ホテルクラウンパレス小倉
- ① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
- ⑤ 7月21日 福岡支部総会に参加(支部長)
- 9月8・9日 九州ブロック大会に参加(4名)
- 12月1日 北九州支部総会に参加(4名)

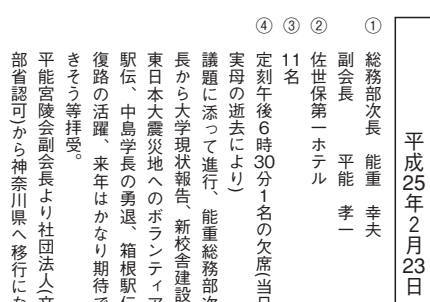
**長崎支部総会**  
平成25年1月19日



- ⑤ 九州ブロック会議大分大会への参加参加予定三人)
- ④ 来賓お二人のご臨席を賜り、支部の予算、決算及び規約改正等総会日程を無事終了。一般社団法人化後の支部の名称は、「神奈川大学佐賀県宮内会」で総会に提案することと一致。本年は県内各地域でのイベント等と日程が重複し、少ない参加者となつてしまつたので、来年度以降の総会日程については検討することにしました。
- ③ 6名
- ② グランデはがくれ
- ① 事務局次長 勇 真一郎  
副会長 平能 孝一
- ⑤ 九州ブロック会議大分大会への参加参加予定三人)

**佐賀支部総会**  
平成24年7月22日

- ④ 来賓お二人のご臨席を賜り、支部の予算、決算及び規約改正等総会日程を無事終了。一般社団法人化後の支部の名称は、「神奈川大学佐賀県宮内会」で総会に提案することと一致。本年は県内各地域でのイベント等と日程が重複し、少ない参加者となつてしまつたので、来年度以降の総会日程については検討することにしました。
- ③ 6名
- ② グランデはがくれ
- ① 事務局次長 勇 真一郎  
副会長 平能 孝一
- ⑤ 九州ブロック会議大分大会への参加参加予定三人)



- ⑤ 本年度の熊本の九州ブロック会議への参加を会員に強力に働きかける。
- ④ 初参加の諫早市の昭和53年経済学科卒の重松氏を含め会員10名、宮内会より宇野副会長、大学より福田事務局次長をお迎えし総会を開催しました。
- ③ 10名
- ② レストラン 古都諫早市
- ① 事務局次長 平能 孝一  
副会長 重 幸夫  
佐世保第一ホテル
- ⑤ 本年度の熊本の九州ブロック会議への参加を会員に強力に働きかける。

**佐世保支部総会**  
平成25年2月23日

- ④ 初参加の諫早市の昭和53年経済学科卒の重松氏を含め会員10名、宮内会より宇野副会長、大学より福田事務局次長をお迎えし総会を開催しました。
- ③ 10名
- ② レストラン 古都諫早市
- ① 事務局次長 平能 孝一  
副会長 重 幸夫  
佐世保第一ホテル
- ⑤ 本年度の熊本の九州ブロック会議への参加を会員に強力に働きかける。





る、全国支部長会議が例年10月開催が6月15日に開かれることなど、お話をいただいた。総会後の懇親会では昔話して盛り上がりました。

福岡支部、筑豊支部のゴルフコンペ(日時未定)

佐世保中心街：4町内会、会長会(年に2〜3度)に併せて神大の情報交換

**熊本支部総会**  
平成25年2月16日

- ① 事務局長次長兼人事部長 佐藤 武  
経営政策部経営政策課長
  - ② 専務理事 田島 陸浩
  - ③ 鶴屋百貨店カーネーションサロン 42名
  - ④ 大学及び宮陵会より3名のご来賓と九州ブロック長をお迎えし、支部総会を開催しました。
  - ⑤ 今年度は、九州ブロック会議を熊本で開催する為、総会にて計画の承認をいただきました。
- 懇親会では、箱根駅伝に出場した福田主将、上村君、吉川君に参加していただき、駅伝の報告に盛り上がり中、前年度の吹奏楽部の熊本公演やホームカミングデーへの出演等、様々な行事の話で終始賑やかな宴となりました。
- ・毎月第三水曜日に理事会開催及び城北、人吉・球磨、城南、天草地区会の開催
- ・6月 第6回慶祝会(慶祝いの会)開催



・9月 九州ブロック会議の開催

・支部のホームページの更新

・ホームカミングデーへの参加

**鹿児島支部総会**  
平成24年11月17日

- ① 総務部長 原田 浩行
  - ② 専務理事 大場 憲治
  - ③ 活魚「さかな村 大黒」28名
  - ④ 平成24年11月17日(土) 宮陵会本部より大場専務理事、大学より原田総務部長に出席いただき、支部総会を開催した。
- 今回は、大学吹奏楽部の特別公演が9月15日鹿児島市内宝山ホールにおいて盛大に開催されたことから、これを機会に多くの参加を期待していたが、結果は、常連組の都合が悪くなったたり、結果として例年の参加人員であった。



大場専務理事、原田部長により大学の状況を知る事も出来、懇親会においては、吹奏楽の話題、箱根駅伝の話題で盛り上がり、楽しい雰囲気の中、お開きとなった。

**神奈川大学同会上海支部総会**  
平成24年5月13日

- ① 副会長 平能 孝一
  - ② Wine&Teas 22名 (公員数45名)
  - ③ 支部長挨拶
- 現状の支部の運営について、当初2009年留学生の仲間で支部を立ち上げてきた。現在日本人の卒業生も加わり、今後活発な会にしていきたい。皆さんの協力が必要だ。
- ・活動報告
- 年間通し3回の懇親会を開催。
- 11月5日「本物の上海蟹を食べる」バスツアー実施 約20名参加。
- ツアーでは、バスの手配、蟹店の手配すべて上海支部の皆さんの協力で実施できましたことを報告し本人を紹介しました。好評なため2012年も蟹ツアーを行うことになった。
- ・役員変更
- 副支部長1名追加3人体制で会を運営することになった、新副支部長に高さんを選出。
- 今年の支部総会、会場は留学生の高さんが経営する洋食屋さんで行い、料理も大変おいしくいただいた。又服務員さんも愛想よく感じのよいお店でした。たくさんサービスもしていただきとても感謝です。一日総会と懇親

会で楽しい時間を過ごしました。更に参加者同士で交流できた。今年の総会は、大成功でした。

**神奈川大学同会上大連支部総会**  
平成24年9月2日

- ① 学長 中島 三千男
  - ② 特別招聘教授 馬 興国
  - ③ 国際センター所長・経営学部教授 ティオフィラス・アサモア
  - ④ 外国学部長 鈴木 陽一
  - ⑤ 学長室長 村川 千鶴
  - ⑥ 学修進路支援部 一部事務部長 明比 卓
  - ⑦ 副会長 平能 孝一
  - ⑧ 大可以又一城 25名
  - ⑨ 第2回支部総会は、平成24年2012年9月2日に開催されました。
- 本日から平能副会長のご臨席を賜り、また中島学長の神奈川大学代表団(中島学長、アサモア教授、馬興国教授、村川学長室長、明比事務部長も、中国の提携校を歴訪中であり、大連支部の支部総会に出席いただきました。北京出張前の鈴木陽一教授もいらっしゃいました。
- 大連の大学からも先生方をお招きし、総勢25名での総会になりました。
- 第1回の設立総会から比べて、会員数も増加し、盛大に設立1周年をお祝いしました。
- 今後も、大連における神奈川大学の知名度向上と、日中両国の友好発展の為、活発な活動を行っていく所存です。



⑤ 大連でボランティア活動を行います。対象：大連盲導犬訓練所 内容：盲導犬飼育費の寄付方法、募金

支部会員、神奈川大学の学生や教職員、宮陵会の他の支部会員から募金を募り、盲導犬訓練所へ寄付いたします。詳細は未定です。

大連盲導犬訓練所は、2006年5月15日に設立された、大連の唯一というだけでなく、中国で唯一の盲導犬訓練所です。

**磯子区支部総会**  
平成25年1月27日

- ① 理事長 伊藤 文保
  - ② 副会長 平能 孝一
  - ③ 横浜社会教育コーナー 21名
  - ④ 平成25年1月27日(日)に磯子区支部の平成25年度の総会が来賓の学校法人神奈川大学理事長伊藤文保様、宮陵会副会長平能孝一様をお迎えし、会員21名の参加を得て横浜社会教育コーナーにて開催されました。
- 総会の議事は、定款に基づき21名の出席と過半数の賛成で議事が成立する旨を司会より報告があり、兼副支部長(S41年工経卒)を議長に氏名して進められた。
1. 事業報告(廣澤事務局長S55年法律卒)
  2. 決算報告(中保会計担当S50応化卒)
  3. 同監査報告(西永会計監査S35貿易卒)
  4. 報告



役員改選、5.平成25年事業計画 6.平成25年予算案 議事はすべて執行部案どおり可決成立しました。

第二部懇親会は、例年ですと総会のおと講演会を開催しますが、今年には変化がある年なので支部長からの問題提起を受けて歓談しながら討論することになりました。

1. 新支部長挨拶(問題提起)長田支部長
2. 乾杯(豊田衛)S36貿易卒
3. 歓談
4. 中綿浦副支部長(S39経済卒)で行いました。

**神奈川区支部総会**  
平成24年11月17日

- ① 事務局長次長 勇 真一郎
  - ② 副会長 狩野 七郎
  - ③ 副会長 宇野 峰雪
  - ④ 神奈川大学24号館 29名
  - ⑤ 朝から激しい雨の落ちる最悪の開催日にもかかわらず、出席予定者はほぼ全員出席された。第28回を重ねてきているが出席者の高齢化、若手の少数出席と問題はある。開催場所を大学に戻して2年になり少い出席者が30名前後となってきた。
- 大学の地元である神奈川区支部として範たる支部にならんことを会長より要請があらわれていた。今、長年支部長の責をもちられていた野道昭三氏より春原正三郎47法に継ぐことになり、副支部長に小川勲夫37機、久米信行49経、亀山修一50英、監事田中隆博32経が就任した。

- ① 箱根駅伝応援 1月2・3日
- ② 大学、宮陵会体育振興委員会、体育会本部と共に東神奈川駅周辺より横浜駅東口周辺まで応援体制を敷く。
- ③ ホームカミングデー参加
- ④ 総会開催
- ⑤ その他

**南区支部総会**  
平成24年10月6日

- ① 総務部校友課長 清水 英樹
- ② 副会長 平能 孝一
- ③ 中区 パブ「セリーヌ」



④ ③  
和田事務局長の司会進行により支  
部総会を開催。

- 1、今回出席者のみの自己紹介
- 2、大学・宮陵会からの来賓から  
現状と将来についてお話があ  
りました。
- 3、宮陵会副会長平能孝一氏より  
前支部岩崎幸雄氏に「功労表  
彰」を贈呈岩崎夫人も出席
- 4、和田事務局長より前回総会の  
会計報告
- 5、会員の報告・発表  
・中野正一氏・箱根駅伝の展望  
・支部長・ミヤマーのお話  
・堤 宏氏 ..今年度のスポーツ  
の成績など
- 6、清水校友課長より応援の指導  
について

⑤  
大いに盛り上がりました。

- 1、次回の支部会を平成25年3月  
頃に開催する。(総会と支部会と  
年2回とする。)
- 2、今年の11月第3水曜日の午後  
5時からバブ「セリイヌ」で  
懇親会を開催すること決定  
名称を「三水会」とする。  
12月の「三水会」で箱根駅伝  
の応援の打合せを行う。
- 3、大学の行事に積極的に参加す  
る。

**保土ヶ谷区・旭支部総会**  
平成24年6月9日

- ① 管財部長 飯田 泰弘  
副会長 平能 孝一
- ② 神奈川大学1号館804会議室  
10名
- ③ 下川副支部長の司会進行により開  
催、出席者紹介、支部長挨拶、来  
賓挨拶後、議事に入り、報告、審  
議の結果、原案とあり承認された。  
昨年度から、役員若手の若返り  
が実現されたが、総会への出席者



は相変わらず少なく、より多くの  
参加をとなよう総会以外の企画  
を計画いたします。

- 1、会議・役員会(随時開催)
- 2、会 報 ..創立15周年記念会誌  
発行に向け編集準備
- 3、親睦会・・サッポロピールの会  
「元町クリフサイド」への参  
加(5月)
- 4、本部要請・・ホームカミングデー  
(秋頃予定)
- 5、その他目的に必要な事項  
加。

**戸塚・栄支部総会**  
平成24年5月19日

- ① 人事部次長 手戸 俊彰  
副会長 平能 孝一
- ② 神奈川大学1号館804会議室  
17名
- ③ 大学より手戸人事部次長、宮陵会  
より平能副会長の御出席を頂き、  
支部設立5回目となる総会を5月  
19日に母校にて開催いたしました。  
審議事項は無事承認され、総  
会終了後の懇親会も大いに盛り上



がり、楽しい時間を過ごすことが  
出来ました。最後に今後の支部の  
発展を誓い終了いたしました。

- 1、箱根駅伝の応援
- 2、会報等の発行
- 3、スポーツ・文化・地域・社会  
活動への貢献
- 4、その他

**横浜北支部総会**  
平成24年5月19日

- ① 学修進路支援部第一事務部長  
田島 和久
- ② 副会長 平能 孝一
- ③ 神奈川大学1号館502会議室  
13名(委任状22名)
- ④ 支部設立5年が経過しました。  
支部会員数65名です。次の事業年  
度の重点施策は、会員間の親睦と  
会員増強です。



**港南区支部総会**  
平成24年4月15日

- ① 副会長 平能 孝一
- ② 「北海道」上大岡店
- ③ 17名
- ④ 支部総会では、事業報告、決算報  
告、監査報告、事業計画案、予算  
案が異議なく承認されました。  
事業報告の特徴としては、東日本  
大震災への義援金として大学を通  
じた募金に33,000円を寄付  
したこと。大学祭の卒業生受付ポ  
ランテアと開校の地を訪ねる散  
策を実施したこと。
- ⑤ また、タウンニュース港南区版に  
創立者の墓参みや総会の模様を写  
真入で掲載されたことが報告され  
ました。

- ① 副会長 平能 孝一
- ② 「北海道」上大岡店
- ③ 17名
- ④ 支部総会では、事業報告、決算報  
告、監査報告、事業計画案、予算  
案が異議なく承認されました。  
事業報告の特徴としては、東日本  
大震災への義援金として大学を通  
じた募金に33,000円を寄付  
したこと。大学祭の卒業生受付ポ  
ランテアと開校の地を訪ねる散  
策を実施したこと。
- ⑤ また、タウンニュース港南区版に  
創立者の墓参みや総会の模様を写  
真入で掲載されたことが報告され  
ました。

**藤沢支部総会**  
平成25年2月24日

- ① 理事長 伊藤 文保
- ② 副会長 小川 勲夫
- ③ グランドホテル湘南  
46名
- ④ 2月24日(日)グランドホテル湘南  
で藤沢支部総会が開催されまし  
た。

ご来賓として、鈴木恒夫藤沢市長、  
神奈川大学伊藤文保理事長同市在  
住、宮陵会からは小川勲夫副会長  
にご出席いただきました。  
秋田琢次新支部長のあいさつ、こ  
来賓のこあいさつ、その後、長期間に  
わたり支部長を務めていただいた渡  
辺光男氏、伊藤義雄氏に功労・感  
謝表彰を行いました。出席者46人



の中には、三浦半島支部長古川勝  
彦氏、茅ヶ崎・寒川支部事務局長  
の永田輝樹氏にもご参加いただき  
ました。

- ① 理事長 伊藤文保
- ② 副会長 宇野 峰雪
- ③ 相模原市立市民会館  
31名
- ④ 近隣の南足柄支部から副支部長の  
ご臨席を賜り、大学の近況、宮陵  
会の状況の説明をいただき、参加  
者一同からも一言ずつのメッセー  
ジをいただき、和やかな会とする

**相模原支部総会**  
平成24年6月23日



**西多摩支部総会**  
平成24年10月13日

- ① 事務局次長兼財務部長  
永和田 隆一
- ② 専務理事 宇久田 進治
- ③ 立川フシントンホテル  
6名
- ④ 開催日を箱根駅伝予選会の一週間  
前としました。
- ⑤ 支部総会と会員への予選会の応援  
依頼を兼ねて開催しました。会員  
からの予選会への期待はあるので  
すが、会合への出席は年々減少し  
ています。

- ① 事務局次長兼財務部長  
永和田 隆一
- ② 専務理事 宇久田 進治
- ③ 立川フシントンホテル  
6名
- ④ 開催日を箱根駅伝予選会の一週間  
前としました。
- ⑤ 支部総会と会員への予選会の応援  
依頼を兼ねて開催しました。会員  
からの予選会への期待はあるので  
すが、会合への出席は年々減少し  
ています。

**南足柄支部総会**  
平成24年7月14日



- ① 教育支援センター事務部長 松岡  
博之
- ② 事務局次長 松岡 博之
- ③ 専務理事 宇久田 進治
- ④ 立川フシントンホテル  
6名
- ⑤ 開催日を箱根駅伝予選会の一週間  
前としました。





④ 副会長 平能 孝一  
南足柄女性センター  
12名

③ この支部が発足して14回目の総会となりました。

② 発足にあたっては先輩諸兄の並々ならぬご努力と宮陵会本部の力添えがあったからだと思っております。

① 今後も宮陵会の発展、母校の発展のために微力ながら応援したいと考えております。

⑤ 1、会則に基づき、名簿の整理及び会報支部だより(の発行)

2、会員相互の親睦行事の計画

3、東京箱根間往復駅伝競走の応援、

4、近隣市町の同窓生との交流を深め、支部の充実を図ることもに在校生との懇親を行う。

5、その他、必要に応じた事業を行う。

**三浦半島支部総会**  
平成24年6月17日

① 管財部次長 増子 義典  
専務理事 宇久田進治  
横須賀セントラルホテル  
37名

② 総会では、事業報告及び収支決算報告を例年の通り提出し、会則の変更については、支部会員の相互親睦と連携強化を図り活動の一層の活発化と会員増強のために会則の変更を提案し、いずれも承認可決をしました。



④ 総会の都度、講演を行っています。今年も当大学の復本 一郎名誉教授の「乞食井月と酒」と題して、柳川柳等の講演をいただき、大変好評でありました。

③ 懇親会では、増子次長及び宇久田専務理事の祝辞をいただき、乾杯をしてから懇親に移り、その後初参加の方は、自己紹介をしたり、支部で開催しています、サークル活動の状況等を報告したりして隣り間に終了時間となり、最後に参加者全員で校歌を斉唱しました。

② 親睦を深めながら母校の発展に寄与し、会員増強への基盤づくりを図る。

① (具体的には、ホームカミングデー、箱根駅伝の予選会及び本選の応援、野球部・サッカー部・アメリカンフットボール等の応援、大学祭、吹奏楽部の定期演奏会等)

⑤ 1、箱根駅伝の予選会及び本選の応援、野球部・サッカー部・アメリカンフットボール等の応援、大学祭、吹奏楽部の定期演奏会等)

2、役員会の開催(4月・9月、12月、3月の第二土曜日とし、場所は、各地区の持ち回り)

3、新年賀詞交換会の開催(平成25年1月)

4、会報「三浦半島だより」の発行(年2回及びホームページの更新)

5、ゴルフ、テニス、歩こう会及び釣り大会のサークル活動の開催

**津久井支部総会**  
平成25年2月24日

① 学生生活支援部事務部長 村川 浩幸  
専務理事 宇久田 進治



④ 相模原市青山コミュニティセンター  
6名

③ 総会出席者は少ないが、終身会員制を貫き、支部会報を神大に送り続ける。

② 同じ学舎で学んだ仲ではないが、との思いで、少数の協力会員で支部を維持。

① 第3回留学生招待パーベキュー大会。今年は、何人遊びに来てくれるかな、楽しみです。

⑤ 1、第3回留学生パーベキュー大会

2、米田吉盛教育奨学金、神大スポーツ文化振興会への寄附

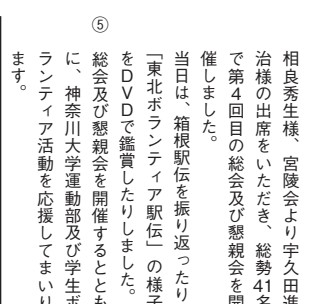
3、梨狩り大会

4、支部総会

⑤ 1、経営政策部次長 相良 秀生  
専務理事 宇久田 進治  
JR茅ヶ崎駅 駅ビルラスカラ スカサロン  
41名

④ 平成25年1月20日神奈川大学より

**茅ヶ崎・寒川支部総会**  
平成25年1月20日



④ 相良秀生様、宮陵会より宇久田進治様の出席をいただき、総勢41名で第4回目の総会及び懇親会を開催しました。

③ 当日は、箱根駅伝を振り返ったり、「東北ボランティア駅伝」の様子をDVDで鑑賞したりしました。

② 総会及び懇親会を開催するとともに、神奈川大学運動部及び学生ボランティア活動を応援してまいります。

⑤ 1、総務部長 原田 浩行  
専務理事 宇久田 進治  
ホテルサンライフガーデン  
23名

④ 箱根駅伝平塚応援ポイントである湘南海岸公園付近で、復路の応援終了後、マイクロバスで支部総会・新年会会場へ移動。

③ 総会は、開会・支部長挨拶・来賓紹介と続き、事務局長より事業計画(案)会計報告(案)の説明があり、会員拡大・近隣支部との交流の促進等の意見があったが、原案どおり承認された。続いて新年会になりスクリーンに大手町まで模様をテレビ放映し、食事をしながら楽しく、にぎやかに懇親会を実施しました。

⑤ 1、事務局長 伊藤 文保  
会長 狩野 七郎  
副会長 平能 孝一  
ホテルキャメロットジャパン「ジュビリーⅢ」  
46名

④ 例年通り、6月に総会ホテルキャメロットジャパン「ジュビリーⅢ」

**平塚支部総会**  
平成25年1月3日



① 事務局長 伊藤 文保  
会長 狩野 七郎  
副会長 平能 孝一  
ホテルキャメロットジャパン「ジュビリーⅢ」  
46名

② 例年通り、6月に総会ホテルキャメロットジャパン「ジュビリーⅢ」



④ 三洋みやも会総会は、母体である三洋証券解散後も会員の交流の場として年に1度開催しており、今回、社団法人宮陵会の平能副会長をお招きし、大学や宮陵会の近況それにスポーツ・文化等各部の活躍を伺うことができ、母校に対する誇りを改めて感じました。

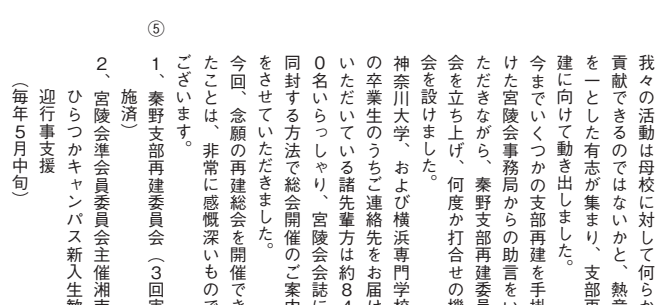
③ 今後、会の発展のために会員同士が連絡を取り合い、より多くの会員の出席を促していこうとの決意を新たにいたしました。

② 年に1回総会を開催。

⑤ 1、理事長 伊藤 文保  
会長 狩野 七郎  
副会長 平能 孝一  
ホテルキャメロットジャパン「ジュビリーⅢ」  
46名

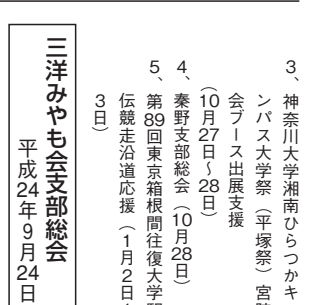
④ 例年通り、6月に総会ホテルキャメロットジャパン「ジュビリーⅢ」

**三洋みやも会支部総会**  
平成24年9月24日



① 理事長 伊藤 文保  
会長 狩野 七郎  
副会長 平能 孝一  
ホテルキャメロットジャパン「ジュビリーⅢ」  
46名

② 例年通り、6月に総会ホテルキャメロットジャパン「ジュビリーⅢ」



④ 3、神奈川大学湘南ひらつかキャンパス大学祭「平塚祭」宮陵会ブース出張支援(10月27日・28日)

③ 4、秦野支部総会(10月28日)

② 5、第89回東京箱根間往復大学駅伝競走沿道応援(11月2日・3日)

⑤ 1、副会長 平能 孝一  
プリヂェン本社B1 eibion eibion  
13名

④ 三洋みやも会総会は、母体である三洋証券解散後も会員の交流の場として年に1度開催しており、今回、社団法人宮陵会の平能副会長をお招きし、大学や宮陵会の近況それにスポーツ・文化等各部の活躍を伺うことができ、母校に対する誇りを改めて感じました。

③ 今後、会の発展のために会員同士が連絡を取り合い、より多くの会員の出席を促していこうとの決意を新たにいたしました。

② 年に1回総会を開催。

⑤ 1、理事長 伊藤 文保  
会長 狩野 七郎  
副会長 平能 孝一  
ホテルキャメロットジャパン「ジュビリーⅢ」  
46名

④ 例年通り、6月に総会ホテルキャメロットジャパン「ジュビリーⅢ」

**神奈川大学内校友会支部総会**  
平成24年6月26日



① 理事長 伊藤 文保  
会長 狩野 七郎  
副会長 平能 孝一  
ホテルキャメロットジャパン「ジュビリーⅢ」  
46名

② 例年通り、6月に総会ホテルキャメロットジャパン「ジュビリーⅢ」





伝援  
その他・年度末までにHPの立ち上げを実現、役員の増加へ、実質的な活動メンバーの増員を図る。

### 横浜信用金庫支部総会

平成24年11月2日

- ① 副会長 小川 勲夫  
横浜国際ホテル
- ② 65名
- ③ 年一回の総会を開催しました。総会は第一部の総会と第二部の懇親会と二部構成で行いました。第一部の総会では一年間の会計報告を行い、第二部の懇親会では余興や新入職員の紹介など出席者の親睦を深め、楽しい時間を過ごしました。
- ④ 平成25年11月頃 支部総会開催予定

### 神奈川大会計人会支部総会

平成24年7月3日

- ① 学長 中島 三千男  
経済学部教授 兼子 良夫
- ② 田中 弘  
戸田 龍介  
専務理事 宇久田 進治
- ③ 神奈川大学1号館 301・308・806
- ④ 第19回定時総会は、神奈川大学に38名の出席を得て開催した。第一部は17時より定時総会が開催され、第1号議案から第5号議案まで全て原案が承認された。第二部では、田中弘経済学部教授による「知られざる『会計戦争』―国富の争奪戦が始まった―」というテーマで講演が行われた。会員及び多くの学生が聴講した。第3部懇親会では、足元の悪いなか、多くの来賓が参加した。

- ⑤ 1、幹事会を平成23年6月3日に開催
- 2、忘年会を平成23年12月13日



- ⑤ 2012年10月中旬…箱根駅伝予選会応援
- 2012年10月下旬…神大フェスタ・平塚祭での支部活動
- 2012年11月…第1回懇親会(宇煮やパーベキュー等の懇親企画)
- 2013年1月…第2回懇親会(新年会箱根駅伝応援の報告会を兼ね)
- 2013年1月2・3日…箱根駅

- 「はせ茂」にて開催
- 3、7大学の友好会計人会の総会に出席。また第15回全国大会会計人会サミットが税理士三田会開催に3名参加
  - 4、賀詞交換会を平成24年1月18日に教授2名参加のもと開催
  - 5、税理士制度説明会を平成23年12月6日開催
  - 6、会計人会として今年も大学に教育基金70万円を寄付した
  - 7、合格祝賀会を平成24年1月20日に開催
  - 8、会員の高齢化に伴い若い会計人の入会をうながす

### 社労士会支部総会

平成24年7月28日

- ① 学長 中島 三千男  
副学長 橋本 宏子  
大学院法務研究科委員長 山崎 公士  
法学部准教授 坂本 宏志  
法学部准教授 菊池 和彦  
法学研究所客員研究員 黒澤 博通
- ② 副会長 小川 勲夫
- ③ 学生向講演会  
神奈川大学23号館201講堂  
総会 1号館804  
懇親会 806
- ④ 23名・学生3名



- ⑤ 総会の前、今回初めて①社会保険労務士試験について②社会保険労務士の魅力と在学中の資格取得を目指した学生時代の過ごし方③災害における社会保険労務士の役割について、我々会員による「学生向け講演会」を開催した。あいにく試験期間中でもあり、参加人数は少なかつたが、参加学生からは意欲ある建設的な発言も多かった。来年は、今回の反省を踏まえて開催時期を考え、より多くの学生が参加できるように努めたい。

### みやも電華会支部総会

平成24年6月3日

- ① 今年度は、7月21日KUポर्टスクエア「経営労務とコンプライアンス」講座を大野実会員が講師を務めた。
- ② 熱海簡易保険加入者ホーム「かんばんの宿(本館)」
- ③ 7名、同伴者1名
- ④ 議



- ⑤ 1、経過報告
- 2、参加人数が激減したので今回を以て総会を行わない。
- 3、総会に代わり毎年6月の第1月曜日に神奈川大学1号館8階のラウンジにて昼食会を開催する。会議形式はとらない。顔を合わせて元気でいる事を確認しあう事にする。
- 4、宮陵会の総会、ホームカミングデーへの出席勧誘
- 5、毎年6月第1日曜日に総会を

- 開催してきたが今回を以て終了する。
- 2、各地在住の会員との情報交換、名簿・近況報告等の配布も今限りとする。会員の情報は従来通り、交互に連絡しあう。
  - 3、「みやも電華会支部」は連絡の取れる会員が37名いるので、此の儘、存続する。

### 珊瑚の会支部総会

平成24年3月5日

- ① 副会長 平能 孝一
- ② 神奈川大学19号館ラックスホール
- ③ 60名
- ④ 全員喜寿を過ぎた同朋会、ここ数年参加者が少しづつであるが増え、今年度は60名となった。例年家内状発送しても無回答が半数以上にもなったので、今回は前年比半分に絞って見たが、5名増



2013.3.6第22回同朋の会総会(神大横浜キャンパス新15号館ラックスホールにて開催)

- の結果となった。今後は急激な減とはならないが、先細りは必至。しかし、毎年の賑わいは変わらず、全員元気大いに氣勢を挙げ会は盛り上っている。
- 総会の他に4月寄席、5月仙石原ゴルフ大会、9月ビアパーティー(会の計画の打合せ等皆で楽しく、息長く続けていきたいものです。
- ⑤ 4月 仙石原
  - 5月〜8月 浅草 寄席
  - 7月〜8月 次回総会の打合せを兼ね、ビアパーティー
  - 12月 忘年会
- 無理な計画をたてず楽しく少しでも参加者を増やす様、皆で計画している。

### 原陵会支部総会

平成24年12月8日

- ② YBS南幸ビル
- ③ 45名
- ④ 原先生が逝去され4年経過するも、先生の令夫人を囲み、平成24年度原陵会並びに講演会を開催。今回は、令夫人の喜寿の祝賀会を兼ねて行われたこと、また、講演会は、特別記念講演として神奈川





- ⑤ 大学教授海老澤栄一氏原ゼミ10回生による「恩師原司郎から学ぶーそこから観てきたことー」という演題でおこなわれたことにより、大いに盛り上がりました。
- ④ 1、各回生ごと、職域Gごとの新年会及び懇親会(25年1〜2月)
- ③ 2、役員会(25年3月)
- ② 3、原先生の墓参り(25年7月)
- ① 4、役員会(25年9月)
- 5、平成25年度総会・講演会(25年12月)

**神奈川大学フロンティア部OB支部総会**  
平成24年12月1日

- ① 専務理事 宇久田 進治
- ② 神奈川大学1号館806
- ③ 22名
- ④ 総会では、OB会として部員獲得に力を入れる事。多くのOB(特に若手)がOB会へ参加しやすくなるようにしていく方針である事を報告。
- ⑤ 総会後、例年通り現役部員を交え懇親会が開催されました。



**神奈川大学陸上競技部OB支部総会**  
平成24年6月3日

- ① 学長 中島 三千男
- ② 後援会会長 鈴木 正太郎
- ③ 副会長 宇野 峰雪

- ② 神奈川大学16号館第3会議室、19号館LUXホール
- ③ 22名
- ④ 平成24年度陸上競技部OB支部総会ではOB22名の出席で開催されました。
- ⑤ 当日は、遠方から来られたOBもあり、現役側からの報告に対し活発な意見交換が行われた。

- ① 総会終了後、神奈川大学中島三千男氏、社団法人宮陵会副会長宇野峰雪氏、後援会会長鈴木正太郎氏、陸上競技部現役部員87名を迎え、懇親会を行いました。神奈川大学学長中島三千男氏をはじめ来賓の皆様から現役部員に向けて激励のお言葉を頂戴した。
- ② 最後には全体で校歌斉唱をし、OBと学生がひとつになり会を終えることが出来ました。
- ③ 平成24年度 活動計画
- ④ 4月 日本体育大学長距離記録会 応援
- ⑤ 横浜市民体育大会応援

- ① 5月 第91回関東学生陸上競技対抗選手権大会エントリー報告、応援
- ② 理事会開催
- ③ 平成24年度定例総会の通知発送
- ④ 6月 第44回全日本大学駅伝対抗選手権大会関東推薦校選考会エントリー報告、応援
- ⑤ 平成24年度定例総会
- ⑥ 7月 第81回全日本大学駅伝対抗選手権大会応援
- ⑦ 平成24年度定例総会報告の通知発送
- ⑧ 8月 長距離夏季女神湖・富士見合宿視察
- ⑨ 9月 短距離夏季菅平合宿視察
- ⑩ 10月 長距離夏季霧ヶ峰合宿視察
- ⑪ 11月 短距離夏季平塚合宿視察

- ① 10月 第89回東京箱根間往復大学駅伝競走大会予選会報告・応援
- ② 神奈川大学ホームカミングデー出席
- ③ 横浜市民選手権大会応援
- ④ 11月 理事会開催

- ① 第44回全日本大学駅伝対抗選手権大会応援
- ② 12月 第89回東京箱根間往復大学駅伝競走大会支援のお願い
- ③ 発送
- ④ 日本体育大学長距離記録会
- ⑤ 1月 応援
- ⑥ 平成25年度
- ⑦ 1月 理事会開催
- ⑧ 第89回東京箱根間往復大学駅伝競走大会応援
- ⑨ 3月 就職講演会OBによる現役への就職講演、個別相談会
- ⑩ 短距離奄美大島選抜合宿視察
- ⑪ 理事会開催

**神六スケルトン部OB支部総会**  
平成24年7月21日

- ① 審議役 打田 一夫
- ② 神奈川大学第1号館301会議室
- ③ 19名
- ④ 平成24年度支部総会は、7月21日(土)午後3時より神奈川大学横浜キャンパス1号館301会議室で開催されました。
- ⑤ 総会では、「平成23年度の収支決算及び活動報告」、「平成24年度の収支予算及び活動計画」について審議しましたが、平成24年度の目標として「会の活性化と役員若返り」を決定しました。住所が判明している登録会員は現在全国で400名程度神奈川近郊に250名程いますが、若手の参加が今ひとつです。現役の応援を兼ねてリーグ戦期間中にOB懇親会を開催するなどしていくこととしました。



- ⑤ 平成24年
- ④ 4〜6月 現役の応援
- ③ 7月 支部総会
- ② 8月 会報25号発行
- ① 9〜11月 現役の応援
- ⑥ 9月 支部役員会
- ⑦ 10月 OB懇親会
- ⑧ 12月 支部役員会
- ⑨ 平成25年
- ⑩ 2月 会報26号発行
- ⑪ 3月 支部役員会

**神大空手部OB支部総会**  
平成24年6月23日

- ① 神奈川大学学生食堂3階ホール
- ② 12名
- ③ 例年になく出席者が12名の出席に宮陵会よりの出席者もなく寂しい総会開催となった。
- ④ しかしながら、今総会は、創部以来初めての公募制推薦枠の認可を取得した。
- ⑤ 事の快挙に大いに盛り上がり、今後のOB会としての対応、対策に関して、大いに議論が交わされた。総会終了後は、例年の通り学生との合同懇親会が開かれ、総勢30余名の参加で大いに盛り上がり、OB、学生との交流が計れた。
- ⑥ 平成23年度
- ⑦ 9月17日 OB幹事会
- ⑧ 11月5日 同上
- ⑨ 12月10日 納会
- ⑩ 平成24年度



- ⑤ 3月17日 OB幹事会
- ④ 4月28日 OB幹事会
- ③ 5月12日 OB幹事会
- ② 6月23日 総会
- ① 3月17日 OB幹事会
- ⑥ 4月28日 OB幹事会
- ⑦ 5月12日 OB幹事会
- ⑧ 6月23日 総会
- ⑨ 3月17日 OB幹事会
- ⑩ 4月28日 OB幹事会
- ⑪ 5月12日 OB幹事会
- ⑫ 6月23日 総会

**神大柔道部OB支部総会**  
平成24年12月1日

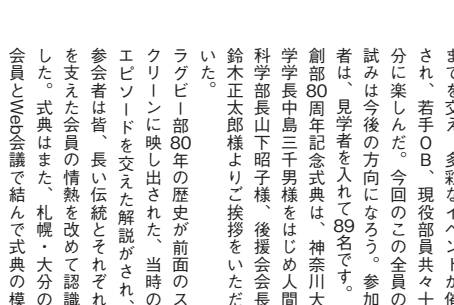
- ① 人間科学部教授 寺沢 正晴 (柔道部部長)
- ② 情報システム推進部 中村 真治 (柔道部副部长)
- ③ 専務理事 宇久田進治
- ④ 神奈川大学17号館216
- ⑤ 72名(委任状含む)
- ⑥ 平成24年度の柔道部OB・OG会の支部総会は、下川事務局長昭42卒の司会で始まり、木村会長昭48卒の挨拶の後、来賓の宮陵会専務理事宇久田様より、ご挨拶を頂戴した。その後、議長に松井氏昭53卒を選任し、平成24年度の事業報告、決算報告、監査報告を審議し、承認された。続いて、平成25年の事業計画案、予算案が審議され、満場一致で承認された。その他の事項で、今後の柔道部の指導体制について、寺沢部長から強化担当コーチを学外に依頼し、柔道部の選手の強化・育成を図りたいとの強固な意志の発表があり、OB・OG会としては、全国のOB・OGに、元気に伝統を引き継ぎ、頑張っている事を告知して貰った。



- ⑤ 平成25年度事業計画
- ④ 1、会報の発行(6月発行予定)
- ③ 2、地区総会の開催(9月・10月実施予定・中国地区が四国地区を予定)
- ② 3、柔道部後方支援援助金贈呈・新入部員有段者に黒帯の贈呈・卒業記念品贈呈
- ① 4、特別コーチ指導料の援助
- ⑥ 5、宮陵会活動への積極的な参加

**神大ラグビー部創部80周年式典・OB支部総会**  
平成24年4月28日

- ① 理学部教授 日野 昌也
- ② 名誉教授 齊藤 直樹
- ③ 副会長 平能 孝一
- ④ 神奈川大学17号館215教室
- ⑤ 35名
- ⑥ 開催前に物故会員6名に1分間の黙祷を行った。
- ⑦ 総会では、遠く福島、群馬から参加もあり35名開催し、議事案件を審議し、総て承認された。新入会員は5名が紹介された。総会後、出席者の全員から自己紹介、近況報告をいただき和やかなりに終了した。
- ⑧ 次に、創部80周年記念行事を14時から総合グラウンドで、S34卒の超ベテランから会員の息子の小学校までを交え、多彩なイベントが開催され、若手OB、現役部員共々十分に楽しんだ。今回のこの全員の試みは今後の方向に入れて89名です。参加者は、見学者を入れて89名です。
- ⑨ 創部80周年記念式典は、神奈川大学学長中島三千男様をはじめ人間科学部長山下昭子様、後援会会長鈴木正太郎様よりご挨拶をいただいた。
- ⑩ ラグビー部80年の歴史が前面のスクリーンに映し出された、当時のエピソードを交えた解説がされ、参加者は皆、長い伝統とそれを支えた会員の情熱を改めて認識した。式典はまた、札幌・大分の会員とZoom会議で結んで式典の様







**神奈川大学O-B支部総会**  
平成24年11月10日

- ⑤ 様を伝え、知己の会員同士は久しぶりの交歓をした。会員は遠く熊本、姫路、三重、静岡、福島、茨城から駆けつけ、来賓の方々、現役員で98名参加した。
- ④ 支部活動
- ③ 1、年12回の役員会を開催し、会の運営全般を協議する。
- ② 2、会報は、年1回、会員名簿は、2年間に1回偶数年に発行する。
- ① 3、会費・寄付金の徴収活動に力を入れていく。(督促活動を含む)
- ④ 4、現役部の維持支援体制を継続し、試合の観戦応援などで連帯感を醸成し、さらに地区O-B会開催を推進する。
- ⑤ 5、継続的に会員の移動情報を把握し、住所不明者の発掘活動をする。



- ① 副会長 平能 孝一
- ② 神奈川大学10号館3階ラウンジ 56名内9名進会員
- ③ 本年度は横浜専門学校から通算して卓球部創立80周年となる記念すべき総会でした。
- ④ 宮陵会からは大変お忙しい中、平能副会長にご出席いただき、ご挨拶では、大学の現状と宮陵会の一一般社団法人への移行について詳しくご説明があり、卓球部への励ましの言葉もいただきました。
- ⑤ 総会では、田口副支部長辞任に伴い、新たに岸(S40年卒)、河田S42年卒)の2名を副支部長に選出し、下東副支部長と合わせて3名体制といたしました。
- ④ 総会後の懇親会には、現役幹部9名を招待し懇親をはかり大いに盛り上がりしました。
- ③ 1、会員名簿の維持・管理
- ② 2、会員への総会の状況報告
- ① 3、卓球部の試合の「応援&懇親の会」開催
- ④ 4、O-B会創設50周年記念事業著名高校との招待試合の開催
- ③ 5、親睦ゴルフ大会の開催
- ② 6、定例総会の開催

- ① 副会長 宇野 峰雪
- ② 神奈川大学保養所
- ③ 27名
- ④ 第11回総会は、宮陵会より宇野峰

**神奈川大学土山岳会支部総会**  
平成24年6月16日



- ① 理事長 伊藤 文保
- ② 事務局長 小林 孝吉
- ③ 副学長 横倉 節夫
- ④ 人間科学部長 山下 昭子
- ⑤ 副会長 小川 勲夫
- ① 神奈川大学1号館308・804 100名
- ② 部創立50周年記念を大学、宮陵会関係者多数ご出席頂き、盛大に開催されました。
- ③ 卒業以来数十年振りの再会等あり、多いに親睦を温めました。
- ④ ・現役支援(人的・経済的支援)
- ⑤ ・役員会(年4回)の実施
- ① 毎年9月第1日曜日開催O-B総会、大学、宮陵会との交流会
- ② ・箱根駅伝応援(予選・本選)



- ⑤ 2012年度
- ④ (2012/6/2013/5) 事業計画案
- ③ 2012/6/16 17
- ② 第4回常任理事会・第11回定期総会
- ① 7/7 8
- ④ 北丹沢12時間耐久レース参戦&支援サポート
- ③ 7/21 23
- ② 西の会京都御所見学
- ① 8/7 16
- ④ 夏山合宿(奥穂高岳)

雪副会長のご臨席を賜り、箱根保養所に開催された。初めに、物故会員の黙祷を行い、その後次第にのっとり前年度事業報告、決算報告、監査報告が収支、次に今年度事業計画案、収支予算案及び役員改選案の承認がなされた。

O-Bの多くは、昨年度よりスタートした「G&G計画」の達成見通しについて、質疑が集中し、現役員部の育成と膨大な資金力の確保が最重要であるという共通の認識を全員で理解し、大学土山岳部の将来構想の実現の為に、人間づくりをテーマに、土山岳会として現役学生とかわりを持ちながら活動をしていく形で意見の一致をみた。

総会終了後は、保養所レストランにて、リニューアルされ美味いメニューに舌鼓を打ちながら、宇野副会長を交えての懇親会が行われ、新入部員が加わって大所帯になった現役部員の自己紹介なども行われ、大いに盛り上がりを見せた。

- ① 副会長 平能 孝一
- ② 学長 中島 三千男
- ③ 46名
- ④ 学長中島先生と宮陵会副会長平能

**神奈川大学硬式野球部O-B支部総会**  
平成24年11月10日

- ① 神奈川大学19号館ラックスホール
- ② 学長 中島 三千男
- ③ 副会長 平能 孝一
- ④ 46名
- ⑤ 学長中島先生と宮陵会副会長平能
- ④ 8/27 31
- ③ 文部科学省大学生リーダー養成研修
- ② 9/3 7
- ① 「山の体験学習」大山登山サポート
- ④ 9/8 16
- ③ G&G計画ウィルヘルム峰遠征(パニアニューギニア)
- ② 10/13 14
- ① 西岳懇親会行&第5回常任理事会・運営委員会
- ④ 10/17
- ③ JAC大学合同クライミング講習会
- ② 10/27 28
- ① 湘南ひらつか祭展示
- ④ 11/3 4
- ③ 神大フェスタ展示&クライミング体験アモ
- ② 11/10 11
- ① 陣馬山トレイルレース参戦&支援サポート
- ④ 11/18
- ③ 大学連合同クライミング講習会
- ② 11/18
- ① 第9回常任理事会・運営委員会
- ④ 11/22 25
- ③ 冬山合宿(偵察&荷揚げ山行)鹿島槍ヶ岳
- ② 12/1 2
- ① 谷川岳ラッセル訓練
- ④ 12/22 28
- ③ 冬山合宿北アルプス鹿島槍ヶ岳東尾根
- ② 2013/2/9 11
- ① 富士山トレーニング
- ④ 3/3
- ③ G&G計画遠征報告「宮陵」にて発表
- ② 3/17
- ① 大学連合同クライミングコンペ&講習会
- ④ 3/21 24
- ③ 春山合宿北アルプス鹿島槍ヶ岳東尾根合宿
- ② 3/31
- ① 第7回常任理事会・運営委員会



- ① 専務理事 宇久田 進治
- ② 神奈川大学箱根保養所
- ③ 22名O-B18名・現役生4名
- ⑤ 春季リーグ戦前に激励会
- ④ 秋季リーグ戦前に激励会
- ③ O-B会懇親ゴルフ会開催



氏のご臨席を賜り、監督をはじめコーチ陣・学生諸君に対し喜びしい中にも心暖まる激励をいただき、監督から来季以降の優勝に向けて一丸となって戦う決意が得られました。O-B会も全面的に支援して行くことを確認して散会しました。



# 第89回 東京箱根間往復大学駅伝競走

# 我那覇選手、9年ぶり区間賞！

# 復路6位！見えた復活の兆し！



大学駅伝最高峰となる「第89回

東京箱根間往復大学駅伝競走」が1月2日、3日、東京・大手町をスタートし箱根・芦ノ湖を往復する、往路5区間108.0km、復路5区間109.9km、計10区間217.9kmにわたって開催された。

本学陸上競技部は44回目の出場となるが、11月に行われた全日本大学駅伝にて第10位という成績を収めているだけに、シード権獲得の期待が膨らむ。



区間賞・我那覇選手

当日変更となった1区、大事な

スタートを主将の福田健太選手（人科4年）が務めると、積極的な走りで先頭集団に喰らいつき、シード権となる10位に6秒差となる好位置で2区の西山凌平選手（人科1年）へ。向い風が徐々に

強くなる中しっかりと順位を維持すると、3区では全日本大学駅伝でも区間上位の走りを見せた小泉和也選手（人科2年）が、一気にシード権争いの集団から抜け出

す。

しかしながら、4区の赤松宏樹選手（経済2年）は区間10位と健闘するも、さらに悪化する天候に苦しみ、後続に追い越されてしまう。シード権圏内の大学を追いかける状況となった5区の柏部孝太郎選手（人科2年）だったが、時

間を追うごとに強くなる冷たい向い風に、大きくペースを落としてしまう。2校が棄権するほどの悪条件の中、意識が朦朧となりながらも懸命にゴールへとたどり着

き、6時間0分3秒の18位で往路を終える。10位とは10分以上の差となり、シード権獲得は難しい状況となる。

復路、一斉スタートとなった6区に起用された高久芳裕選手（人科4年）が、前を行く大東大、山

学大を抜き、昨日の重い空気を断ち切る区間9位の走りを見せる

と、7区で当日変更となったルーキーコンビの一人、我那覇和真選手（人科1年）は、6区の勢いそのままにさらに3校を抜く大快走。なんと本学では9年ぶりとなる区間賞。

さらに8区は当日変更の吉川了選手（人科4年）が、遊行寺の坂を登った後も粘り強く走り区間4位の快走をみせると、9区の鈴木

駿選手（人科4年）は昨年の雪辱の区間を走りきり、最終区間へ母校の襷をつないだ。

アンカー10区を任せられた井上雄介選手（人科2年）

総合成績		
順位	チーム	総合タイム
1	日本体育大学	11時間13分26秒
2	東洋大学	11時間18分20秒
3	駒澤大学	11時間19分23秒
4	帝京大学	11時間21分39秒
5	早稲田大学	11時間21分39秒
6	順天堂大学	11時間24分43秒
7	明治大学	11時間25分14秒
8	青山学院大学	11時間25分59秒
9	法政大学	11時間26分40秒
10	中央学院大学	11時間27分34秒
11	山梨学院大学	11時間28分24秒
12	大東文化大学	11時間30分46秒
13	関東学連選抜	11時間31分50秒
14	國學院大學	11時間33分28秒
15	日本大学	11時間35分23秒
16	神奈川大学	11時間37分36秒
17	東京農業大学	11時間39分13秒
18	上武大学	11時間42分44秒
	城西大学	記録無し
	中央大学	記録無し

は苦しい表情を見せながらも、復路大躍進の大声援を応援指導部、管弦楽団から受け、ゴール大手町へと駆け抜ける。

総合成績は11時間37分36秒の16位と、残念ながらシード権獲得とはならなかったものの、復路5区間が5時間37分33秒の6位、さらには9年ぶりとなる7区区間賞という結果に、次回90回大会でのシード権獲得を期待させる大会となった。（神大スポーツから転載）

# 第89回箱根駅伝 神大 激走の軌跡

往路成績●6時間0分3秒・18位

1区 福田健太選手 1時間4分48秒・区間順位12位

今までで一番緊張したレースでした。しかし4年目は強気の練習が出来ていたの自信を持ってスタートラインに立てました。持てる力は出して、悔いのない走りが出てよかったです。最後は目標には届きませんでしたが、内容は次に繋がるレースでした。これから強くなっていく神大をよろしくお祈りします。



東京大手町

復路成績●5時間37分33秒・6位

10区 井上雄介選手 1時間13分16秒・区間順位12位

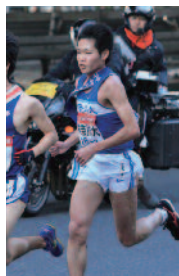


初めての箱根駅伝ということで自分の走りができるか不安でしたが、沿道での皆さんの応援があり最後まで走り切ることができました。来年こそはしっかりと予選会を通過し、シード権獲得を目指します。

鶴見中継所

2区 西山凌平選手 1時間11分32秒・区間順位11位

今回の箱根ではいい流れでタスキを繋いでもらっていい位置でレースを運ぶことができました。また自分の走りに自信がもてる内容でしたし、皆様の声援が力になりました。憧れの箱根でチーム力が発揮できた駅伝ができてよかったです。



9区 鈴木 駿選手 1時間12分36秒・区間順位13位

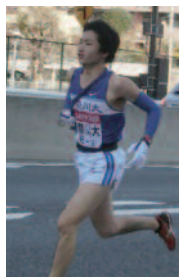


私は昨年引き続き9区を走ることになりました。昨年はアスリートとして情けない結果になってしまいましたが、この一年多くの方たちに支えていただき、そして応援していただきました。その温かさを肌で感じ練習に取り組んできました。結果は決して満足できるものではありませんでしたが、悔いなく思い切り走れました。4年間ありがとうございました。

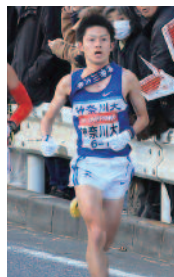
戸塚中継所

3区 小泉和也選手 1時間7分37秒・区間順位10位

正直なところ夏には走れると思ってなかったので、夢の舞台で走れることに感動しつつ、思いっきり楽しんで走れました。多々思うことはありますが、チームの中にも強い先輩や同級生がいるので切磋琢磨して他校のエースと勝負していきます。最後に今回は応援ありがとうございました。



8区 吉川 了選手 1時間7分15秒・区間順位4位



1月2日、3日たくさんの応援ありがとうございました。目標にしていたシード権獲得はできませんでしたが、全員で良い駅伝をすることができました。私たち4年はこれで引退となりますが、後輩たちは次に繋がる駅伝でもあったと思います。神奈川大学の一員として箱根駅伝にチャレンジできたことを誇りに思います。

平塚中継所

4区 赤松宏樹選手 59分11秒・区間順位10位

納得のいく練習ができずに自信を持ってスタートラインに立つことができませんでした。その結果が区間10位という本意な結果を招くこととなりました。反省し次に繋がっていきます。



7区 我那覇和真選手 1時間4分47秒・区間順位1位

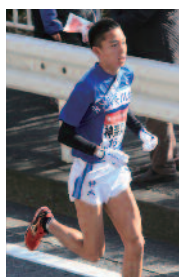


今回、7区を走らせていただき、区間賞までいただきました。箱根駅伝を走る上で、いろんな方が関わって下さり、身近なところから僕の見えないところまで本当にいろんな方が支えて下さって成り立っているのを感じました。来年はチームとして結果を残していきます。本当に、ご支援やご声援ありがとうございました。

小田原中継所

5区 柏部孝太郎選手 1時間36分55秒・区間順位18位

今回私は5区山登りを走らせていただきました。結果は途中低体温症になってしまい、4区までの選手がつくった流れを繋ぐ事ができませんでした。今大会では皆様の期待に応える走りができず申し訳ありません。これから心身ともに鍛えなおし、次のレースに臨んでいきます。



箱根・芦ノ湖

6区 高久芳裕選手 59分39秒・区間順位9位



復路のスタートということでチームを勢いづける走り、7区我那覇選手に良い位置で襷を繋ぐことを考えて走りました。2年生の時に走った経験を活かして後半順位を上げることができ、役割は果たせたと思います。シード権獲得ができず悔しい気持ちですが、頼りになる先輩が来年こそはシード権獲得をしてくれると思いますのでこれからもご声援よろしくお祈りします。温かいご声援本当にありがとうございました。